

60th Anniversary

流山市消防本部
60周年記念誌



- 流山市の紹介（概要）
- ごあいさつ 流山市長
流山市消防長
流山市消防団長
- 流山市消防歌・流山市消防本部応援ソング

1 流山市消防本部 60年の歩み

沿革・発展の軌跡	03
歴代消防長・消防団長	23
消防組織の変遷	24

2 統計でみる 流山市消防本部

人口・世帯数の推移	26
火災発生状況の推移	27
救急出動件数の推移	28
救助出動件数の推移	29

3 消防施設と 消防車両

消防施設	30
消防団施設	33
消防車両	39

4 各種業務

消防業務	43
救急業務	47
救助業務	49
消防総務課	56
予防課	60
警防救急課	65
ちば北西部消防指令センター	67
緊急消防援助隊	68

5 新消防庁舎 誕生の記録

新消防本部・中央消防署庁舎建設の記録	70
新庁舎の施設・機能	74
新庁舎での業務風景	78

6 これからの 流山市消防本部

消防長・消防団長の想い	80
若手職員の声	82

7 地域とともに

消防本部公式 SNS	84
市民からの祝福	85

- 編集後記

都心から
一番近い
森のまち



母になるなら流山市 父になるなら流山市

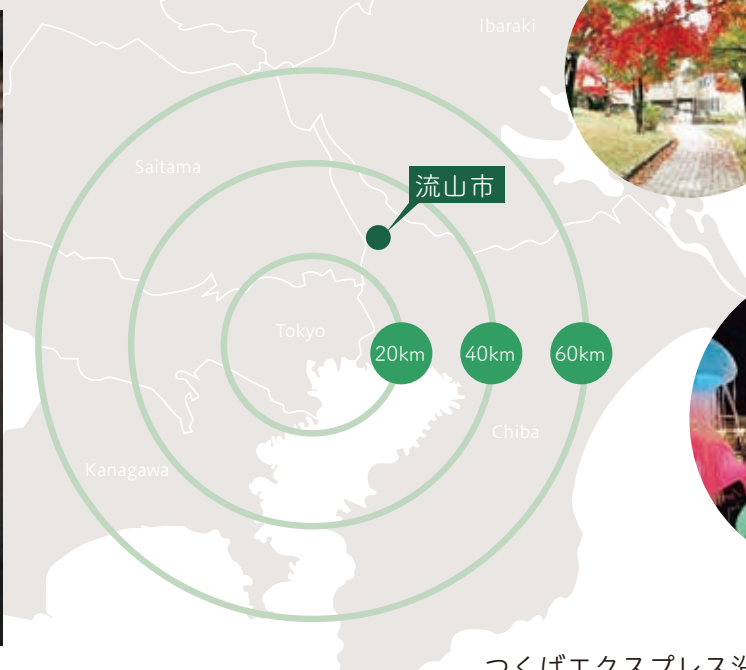


流山市の概要

千葉県北西部に位置し、東は柏市、西は江戸川を隔て埼玉県三郷市と吉川市、南は松戸市、北は野田市に接しています。首都圏北東部にあたり、都心から 25km 圏に位置しています。

また、つくばエクスプレスにより東京秋葉原間と約 25 分で結ばれています。

本市の面積は、35.3km²、緑豊かで良質な住環境と、快適な都市環境の整備された「都心から一番近い森のまち」となっています。



つくばエクスプレス沿線において一体型土地区画整理事業が施行され、基盤となる都市計画道路、宅地等が整備され、特におおたかの森駅周辺は乗り換え駅としてのポテンシャルの高さから大規模なマンションや商業施設、宅地分譲が急速に進展しています。

「都心から一番近い森のまち」をテーマとして、緑が多く子育てや教育環境が充実しており、2021年には待機児童ゼロを達成し、流山市独自の子育て支援を導入しているため、子育て世代にも注目を集めています。

市内には300以上の公園、緑地があります。昭和42年に千葉県で20番目に市として産声を上げた当市の人口は、令和7年4月1日現在、21万3816人で、県内で7位です。

「流山」の由来

洪水で上州（現在の群馬県）の赤城山から崩れた土が流れ着いたことから流山の地名が付いたという伝説があります。その流れてきた山とされているのが流山本町にある赤城神社です。別の説では、赤城神社のお札が流れ着いたからとも言われています。



流山市長
井崎 義治

流山市消防本部が発足60周年という記念すべき節目を迎えられましたことに、心よりお祝い申し上げます。

昭和41年に消防本部が発足されて以来、本市は着実な発展を遂げてまいりました。とりわけ、平成17年のつくばエクスプレス開業を契機に人口は大きく増加し、まちの景観や暮らしのあり方も大きく変化しております。そのような変化の中にあっても一貫して市民の生命と財産を守るという崇高な使命のもと、昼夜を問わず献身的に職務にあたってこられたすべての消防職員各位に、深甚なる感謝と敬意を表します。

また、地域に根ざした消防団の皆様の力強いご活動や、消防を支え見守ってくださる市民の皆様の温かいご協力に感謝を申し上げます。

今後も、地球沸騰化と災害の激甚化に対応すべく、消防体制のさらなる充実を図り、22万市民の安全安心を図ってまいります。

60周年の歩みを礎に、新たな一歩を踏み出す流山市消防本部の未来に大いに期待するとともに、関係者の皆さまのご健勝とご活躍を心より祈念し、記念誌発行のご挨拶とさせていただきます。



流山市消防長
須藤 恭成

このたび、流山市消防本部は、昭和41年の発足から節目となる60周年を迎えることができました。これもひとえに、市民の皆さまをはじめ、地域に関わるすべての関係者の皆さまの温かいご支援とご協力の賜物であり、心より御礼申し上げます。

火災・災害・救急といった市民生活に直結する重要な分野を担う常備消防の役割は、時代とともに一層重要性を増しております。私たち消防職員は、地域の安全と安心を守るという強い使命感と誇りを胸に、日々職務に邁進してまいりました。

この60年の歩みは、先人たちが築き上げた堅実な基盤、そして市民の皆さまからの深い信頼に支えられてきたものであります。私たちはその歴史と精神をしっかりと継承しながら、変化する社会情勢に対応した防災体制の整備や、人材の育成に引き続き注力してまいります。

近年では、異常気象に伴う災害の激甚化や少子高齢化など、これまでにない新たな課題にも直面しております。

こうした課題に的確に対応すべく、令和7年には新たな消防庁舎での運用を開始したところであり、更なる機能強化と組織体制の充実を図ってまいります。

これからも、市民に寄り添い、信頼される消防であり続けるために、全職員一丸となって努力を重ねてまいります。今後とも、皆さまの変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



流山市消防団長
梅澤 一雄

流山市消防本部が発足60周年という大きな節目を迎えられましたことに、消防団を代表して心よりお祝い申し上げます。併せて、日頃より消防団活動にご理解とご協力を賜っております市民の皆さまに、改めて深く感謝申し上げます。

私たち流山市消防団は、昭和27年に発足し、以来70年以上にわたり、地域に根ざした防災活動に取り組んでまいりました。非常勤特別職の地方公務員として、常備消防と連携しながら、火災や災害の現場における迅速な対応に努めております。また、平時には防火啓発活動や訓練を通じて、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神を大切に、日々の活動に励んでいます。

この60年、消防団の歩みは地域の皆さまの信頼と支えにより築かれてきました。現代は少子高齢化やライフスタイルの多様化といった課題に直面しておりますが、私たちは引き続き、地域防災の中核としての役割を果たしてまいります。

近年では、団員の若返りや女性団員の活躍も進んでおり、多様な人材がそれぞれの力を発揮できる体制づくりにも力を注いでいます。未来を見据えた持続可能な消防団を目指し、これからも市民の皆さまに信頼される活動を続けてまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

流山市消防歌

この制服の誇らしさ

作詞 柏木 謙介

作曲 高橋 良雄

筑波の肩に陽が昇り
富士の向うに陽が落ちる
美しいまちながれやま
住む人々の幸せを
この手で守る生き甲斐に
この制服の誇らしさ
固い友情団結で
走れサイレン赤色灯
消防・救急・救助隊



流山市消防本部応援ソング

勇気の翼～おおたかくんのテーマ

作詞ソノライフ

作曲ソノライフ



街中で輝いている いくつもの
希望の星はそこから見えているかな
君にも覚えてほしいことがあるんだ
命を守るオレンジの光
助けに行くから 怖がらず
唱えてごらんよ 魔法の数字を（１１９）
もしも君が困ったなら迷わずに僕を呼んで
どんな時も駆けつけるよ 勇気の翼で
この街がいつも いつまでも笑顔で溢れるように
何度だって飛び立つのだ 君のために

60th
Anniversary

流山市消防本部
60周年記念誌

沿革・発展の軌跡

年

流山市消防本部沿革

社会の動き・災害等

1964

(昭和 39 年)

- 1.20 流山町消防団常備部を設置するため、加 206 番地の 9 へ消防庁舎の建設を開始。
- 3.1 流山町消防団常備部員を 15 人採用。翌日、消防活動に必要な技能を修得するため、千葉県消防学校へ派遣。
- 4.1 流山町消防団常備部を発足する。部員 15 人。水槽付消防ポンプ自動車 1 台を配置。
- 5.30 消防庁舎が竣工。(鉄筋コンクリート・軽量鉄骨 2 階建て延べ床面積 354㎡)
- 11.16 兼用消防車(指揮、査察、広報、救急)を配置。

・東京オリンピック開催

・新潟地震



加 206 番地の 9 に建設された消防庁舎



発足当時の消防隊員たち



当初は消防団の車両を借用して活動

1965

(昭和 40 年)

- 3.1 常備部職員 16 名、消防自動車 2 台、非常勤団員 470 名、消防自動車 6 台、可搬動力ポンプ車 18 台の警防体制を整える。

・日本の人口が 1 億人を突破

1966

(昭和 41 年)

火の始末 人にたのむな まかせるな

- 3.3 流山町消防団に消防庁長官竿頭綬が授与される。
- 4.1 流山町消防団常備部を廃止し、県下 16 番目の消防本部・消防署を発足。初代消防長に石塚健氏、消防署長に福島義雄氏が就任。消防職員の定員を 44 名に改める。(実員 20 名)
- 12.1 北部地域の消防体制を充実するため、江戸川台東 2 丁目 19 番地へ江戸川台分遣所(合同)を開設。軽量鉄骨一部 2 階建て延べ床面積 270.54㎡、消防吏員 12 人、水槽付消防ポンプ自動車 1 台を配置。

・全日空機 松山空港沖に墜落

・ビートルズ来日



江戸川台分遣所庁舎の様子

1967
(昭和 42 年)

さあねよう アッそのまえに 火の点検

- 1.1 市制施行。(県下 20 番目)
- 4.18 2 代消防長に榎本清次郎氏(流山市長職務代理者事務取扱)が就任。
- 5.20 3 代消防長に岩井茂雄氏(流山市助役事務取扱)が就任。
- 12.25 東部地域の消防体制を充実するため、名都借 314 番地へ東部分遣所(合同)を開設。
軽量鉄骨一部 2 階建て延べ床面積 275.2㎡、消防吏員 12 人、水槽付消防ポンプ自動車 1 台を配置。

・第三次中東戦争
勃発

東部分遣所庁舎の様子

1968
(昭和 43 年)

あなたは 火事の恐ろしさを 知らない

- 9.6 携帯無線機 3 基を本署、江戸川台、東部各署所に配置。
- 11.1 救急業務を本格的に開始。



本市初導入の救急車

- ・小笠原諸島 日
本に返還
- ・郵便番号制がス
タート

1969
(昭和 44 年)

今捨てたタバコの温度が 700 度

- 4.1 消防副士長制度を採用。
- 4.5 流山市の人口が 5 万人を突破。
- 7.16 流山市文化会館オープン。



市政施行を記念して建設された文化会館

- ・アポロ 11 号
月面着陸成功
- ・東名高速道路全
線開通

1970
(昭和 45 年)

防火三百六十五日

- 4.27 4 代消防長に井上昇氏(前八日市場警察署長)が就任。
- 5.14 野々下、工場火災により 581㎡焼失。
- 11.9 昭和 39 年に購入した兼用車を廃止し、新たに指揮車を消防本部に配置。



工場火災の記録

- ・よど号ハイジャッ
ク事件
- ・大阪万博開催

年

流山市消防本部沿革

社会の動き・災害等

1971
(昭和 46 年)

いま燃えようとしている火がある

- 5.1 救急車のモーターサイレンを電子サイレンに変更。
- 8.6 流山市の人口が6万人を突破。
- 11.1 消防ポンプ自動車（ニッサンジープ）を本署2号車として配置。

- ・横綱大鵬が引退
- ・岩手県雫石上空で全日空機と自衛隊機が衝突

1972
(昭和 47 年)

なれた火に 新たな注意

- 4.1 消防職員の定員を82名に改める。(実員66名)
- 4.13 消防署に救急係を設置する。
駒木、成願寺の火災により236㎡焼失。
- 6.1 初代消防団長の水代健司氏が勇退し、2代消防団長に池田譲吉氏が就任。
- 8.23 職員6名で、赤バイ隊を編成。
- 11.13 防火意識の高揚と安全な環境づくりを目指し、毎月13日を「市民防火の日」と定める。
- 12.1 社団法人日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される。

- ・沖縄返還
- ・札幌冬季オリンピック開催
- ・中国から贈られたパンダ、上野動物園で初公開



成願寺火災の記録



赤バイ隊を編成

1973
(昭和 48 年)

隣にも 声かけあって よい防火

- 4.10 市と医師会との間に医療問題懇談会が組織され、救急業務に大きな前進となる。
- 7.1 消防署に指揮車と水難用救助艇を配置。
- 7.2 流山市の人口が7万人を突破。
- 9.28 消防団の機構改革（現分団を6地域に区分）を行い、方面制を編成する。
- 10.3 短波無線電話から超短波無線電話へ整備し、通信統制の円滑化を図る。

- ・ベトナム和平協定調印
- ・東洋一のつり橋、関門橋開通（全長1,068メートル）



指揮車



水難用救助艇

1974
(昭和 49 年)

生活の 一部にしよう 火の点検

- 3.7 消防本部・消防団に消防庁長官表彰旗が授与される。
- 4.1 消防本部の機構改革を行い、総務課・予防課を設置し、消防本部の充実を図る。
- 5.24 都市消防体制の近代化を図るため、三輪野山 110 番地の 1 へ消防本部・消防署の庁舎が竣工する。鉄筋コンクリート 3 階建て延べ床面積 835.7㎡。
- 9.15 消防救急指令装置 (C 型) を導入し、通信統制と消防活動の円滑化を図る。
- 12.13 大型化学ポンプ自動車Ⅲ型を配置。



本市で初めて導入された大型化学車



三輪野山 110 番地の 1 に竣工した消防本部・消防署庁舎

・第一次オイル
ショック
物価高騰

1975
(昭和 50 年)

幸せを 明日につなぐ 火の始末

- 4.1 消防職員の定員を 95 名に改める。(実員 88 名) また、消防団員の定員を 400 名に改める。(実員 375 名)
- 5.15 流山市の人口が 8 万人を突破。
- 6.1 保健センターが開設され、医師会に運営を委託し、休日診療体制が確立される。
- 9.25 消防団車両に無線傍受用受信機を整備。

・3 億円強奪事件
が時効

・ベトナム戦争終
結 南北ベトナム統一

1976
(昭和 51 年)

火災は人災 防ぐはあなた

- 4.1 4 代消防長井上昇氏が勇退、5 代消防長に杉村芳男氏 (流山市教育次長) が就任。消防本部の機構改革を行い、警防課を設置。
- 5.31 東初石 2 丁目、県立流山高校の火災により、1,150㎡焼失。
- 12.1 消防職員のコミュニケーションを図るため、「消防職員だより (昭和 60 年 10 月号からくさざなみと改称)」を発刊。



県立流山高校の火災記録

・ロッキード事件
発覚 田中角栄
元首相逮捕

・1 千万ジャンボ
宝くじに殺到
死者 2 名

年

流山市消防本部沿革

社会の動き・災害等

1977
(昭和 52 年)

使う火を 消すまで離すな 目と心

- 2.25 流山市の人口が9万人を突破。
- 9.1 区画整理により、消防本部の所在地を三輪野山 994 番地に変更。
- 10.1 消防団員の定員を 356 名に改める。(実員 348 名)
- 12.16 社団法人日本損害保険協会から、救急自動車(ニッサン 3B 型)が寄贈される。



日本損害保険会社より寄贈された救急自動車

- ・王貞治選手
ホームラン世界
記録達成
- ・日航機が日本赤
軍にハイジャッ
クされる

1978
(昭和 53 年)

それぞれの 持ち場で生かせ 火の用心

- 1.1 流山市消防音楽隊を 14 人で発足。
- 4.1 消防職員の定員を 100 名に改める。(実員 91 名)
- 救急需要の増加に対応するため、
救急隊を 3 隊にし各署所に配置。
- 9.1 流山市第 1 回総合防災訓練を江戸
川台小学校で行う。



流山市消防音楽隊発足

- ・伊豆大島近海で
マグニチュード
7.0 の大地震
- ・宮城県沖地震

1979
(昭和 54 年)

これくらいと 思う油断を 火が狙う

- 2.1 救助工作車を配置。
- 2.17 流山市の人口が10万人を突破。
- 3.6 流山市危険物安全協会と流山市防火管理者連絡協議会が合併し、流山市防火安全協会が設立される。
- 4.1 消防職員の定員を 110 名に改める。(実員 104 名)
救助隊発足。
- 11.30 中高層建築物対策の一環として、はしご付消防ポンプ自動車(35.4m)を配置。



本市で初めて導入された救助工作車



本市で初めて導入されたはしご車

- ・第二次オイル
ショック
- ・イラン革命
- ・木曾の御岳山が
噴火

年

流山市消防本部沿革

社会の動き・災害等

1980
(昭和 55 年)

あなたです！ 火事を出すのも 防ぐのも

- 4.1 消防職員の定員を 113 名に改める。(実員 111 名)
- 8.20 防火意識の普及を図るため、起震車を導入。



人気の起震車体験風景

・静岡駅前の地下街でガス爆発、死者 14 名

1981
(昭和 56 年)

毎日が 防火デーです ぼくの家

- 5.24 職員の健康管理と事務能率の向上を図るため、「4 週 5 休体制」を導入。
- 9.1 消防行政担当区制度の活動を開始。
- 10.1 消防本部・消防署の機構改革を行う。2 代消防署長に茂呂悌市氏が就任。
- 10.22 台風 24 号が来襲、市内の各地で被害が発生した。(床上浸水 175 棟、床下浸水 1,083 棟など被害総額 76,562 千円)



救助訓練の様子

・北炭夕張炭坑事故発生

1982
(昭和 57 年)

火の用心 心で用心 目で用心

- 4.1 南部地域の消防体制を強化するため、鰯ヶ崎 759 番地へ南部分遣所を開設。鉄筋コンクリート 2 階建て延べ床面積 465.1㎡、消防吏員 13 人、水槽付消防ポンプ自動車 1 台を配置。
- 8.31 集中豪雨で新川土地改良区排水路が決壊。
- 9.13 台風 18 号で避難人員 83 名、床上浸水 117 棟、床下浸水 1,002 棟の被害が発生。
- 10.30 消防音楽隊の制服を新調。



南部分遣所を鰯ヶ崎 759 番地に開設

・ホテルニュージャパン火災死者 32 名

・羽田沖日航機墜落事故

年

流山市消防本部沿革

社会の動き・災害等

1983
(昭和 58 年)

点検は 防火のはじまり しめくくり

- 4.1 5 代消防長杉村芳男氏が流山市監査委員事務局長に転出したため、6 代消防長に吉野芳矩氏（流山市経済環境部長）が就任。
消防職員の定員を 130 名に改める。（実員 128 名）

・東京ディズニーランドが浦安市に開園

- 5.14 市原市で開催された消防音楽隊研究発表会に参加。

・日本海中部地震

- 7.16 総合気象観測装置を消防署通信係に設置。



市原市で開催された消防音楽隊研究発表会にて演奏

1984
(昭和 59 年)

“あとで”より “いま”が大切 火の始末

- 3.1 流山市消防旗を制定。
- 4.1 消防署通信係を警防課に所轄換し、消防本部・消防署の機構改革を行う。
消防職員の定員を 140 名に改める。（実員 134 名）
- 12.4 財団法人日本自動車工業会から、救急自動車（ニッサン 2B 型）が寄贈される。



引揚救助訓練の様子

・長野県西部地震
・御嶽山で大規模な山体崩壊
・グリコ・森永事件発生

1985
(昭和 60 年)

怖いのは 「消したつもり」と「消えたはず」

- 4.1 北部地域の消防体制を強化するため、江戸川台分遣所を北分署に昇格し、平方原新田 139 番地の 1 へ開設。鉄筋コンクリート 2 階建て延べ床面積 760.8㎡、消防吏員 30 人、水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車・救急車各 1 台を配置。
消防職員の定員を 143 名に改める。（実員 141 名）

・日航 123 便墜落事故
・三原山噴火（伊豆大島）

1986
(昭和 61 年)

防火の大役 あなたが主役

- 4.1 消防職員の定員を 145 名に改める。(実員 140 名)
- 4.15 社団法人日本損害保険協会から、消防ポンプ自動車 (BD-1 型) が寄贈される。
- 5.30 自治省消防庁の主要事業の一つである「消防団活性化モデル事業」の団体に採択される。
- 7.1 消防団の活性化を推進するため、流山市消防団活性化推進検討委員会を設置。
- 8.22 第 15 回全国消防救助技術大会に、ロープ応用登はんの部で出場。
- 12.15 消防の中枢を担った指令業務を一層迅速・的確に行うため、最新の消防救急指令装置 (II 型) を導入。

・チェルノブイリ
原発事故発生



導入された救援車



最新の消防救急指令装置を導入

1987
(昭和 62 年)

消えたかな！ 気になるあの火 もう一度

- 1.10 消防団員のコミュニケーションを図るため、「まとい」を発行。
- 4.1 2 代消防団長池田譲吉氏が勇退し、3 代消防団長に秋元浩司氏が就任。
- 8.21 第 16 回消防救助技術関東地区指導会に、ロープ応用登はんの部で出場。
- 11.10 消防団ニュース「まとい」を「展望」と改名。

・国鉄分割民営化、
JR発足



第 16 回消防救助技術関東地区指導会のロープ応用登はん 出場風景

1988
(昭和 63 年)

その火 その時 すぐ始末！

- 4.1 東部地域の消防体制を強化するため、東部分遣所を東分署に昇格し、前ヶ崎 449 番地の 1 へ開設。鉄筋コンクリート 2 階建て延べ床面積 763.11㎡、消防吏員 30 人、水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車・救急車・連絡車を各 1 台配置。

・青函トンネル開
通



前ヶ崎に開設された東分署

年

流山市消防本部沿革

社会の動き・災害等

1989
(平成元年)

おとなりに あげる安心 火の始末

- 2.9 東分署の敷地内に、本格的な消防救助技術訓練塔が完成。
- 4.1 消防団員の定員を 355 名に改める。(実員 349 名)
- 5.14 常備消防発足 25 周年を記念し、県下消防音楽隊フェスティバルを開催。
- 8.25 第 18 回全国消防救助技術大会に、ロープ応用登はんの部で出場。



消防救助技術訓練塔 完成式典

- ・昭和天皇崩御
- ・ベルリンの壁崩壊

1990
(平成 2 年)

まず消そう 火への鈍感 無関心

- 1.1 消防職員の定員を 166 名に改める。(実員 149 名)
- 4.1 6 代消防長吉野芳矩氏が退職し、7 代消防長に齊藤勝夫氏(流山市助役事務取扱)が就任。また、2 代消防署長茂呂悌市氏が消防次長に昇格したため、3 代消防署長に古宮一夫氏が就任。
- 7.1 8 代消防長に柏木謙介氏(流山市福祉部長)が就任。
- 11.6 幼年期からの火災予防思想育成を図るため、本市初の幼年消防クラブ 2 団体(平和台・江戸川台ひまわり幼稚園)が結成される。

幼年消防クラブ
結成式の様子

- ・バブル経済崩壊の兆し

1991
(平成 3 年)

毎日が 火の元警報 発令中

- 4.1 消防本部(1 係増設)・消防署(南部分遣所は南分署に昇格)の機構改革を行う。福祉消防推進のため、予防課に、女性消防吏員を採用配置。3 代消防署長古宮一夫氏が退職し、4 代消防署長に齊藤常昭氏が就任。
- 7.5 南分署に救急車を配置。



女性消防吏員 3 名が入庁



新たに南分署に配備された救急車

- ・信楽高原鐵道衝突事故
- ・長崎県雲仙普賢岳の大火砕流災害

1992
(平成 4 年)

点検を 重ねて築く “火災ゼロ”

- 3.26 常磐自動車道流山インターが供用開始。
- 4.1 消防署に、市民生活に役立つ「暮らしを守る消防隊」を配置。
- 6.10 消防本部・消防署庁舎の増築工事竣工。(鉄骨 2 階建て延べ床面積 108.02㎡)
- 11.1 「完全週休 2 日制」を導入。



常磐自動車道流山インター供用開始に伴う救助訓練風景



全国初の暮らしを守る消防隊を編成

1993
(平成 5 年)

防火の輪 つなげて広げて なくす火事

- 2.4 消防署に大型水槽車 (10t) を配置。
- 4.1 4 代消防署長齊藤常昭氏が退職し、5 代消防署長に根本英男氏が就任。
消防職員の定員を 180 名に改める。(実員 164 名)

春の全国火災予防運動期間
ミスなぐれやま一日消防署長

本市で初めて導入された大型水槽車

・北海道南西沖地
震1994
(平成 6 年)

安心の 暮らしの中心 火の用心

- 4.1 9 代消防長に茂呂悌市氏 (消防次長) が就任。
- 7.27 財団法人日本消防協会から、救急自動車 (トヨタ 2B 型) が寄贈される。
- 11.7 流山市常備消防 30 周年記念式典を開催。記念誌「明日に向かって」を発行。



記念誌「明日に向かって」



防災訓練の様子



年

流山市消防本部沿革

社会の動き・災害等

1995
(平成 7 年)

災害に 備えて日頃の 火の用心

- 9.5 自治省消防庁の緊急消防援助隊に救急部隊 1 隊、消火部隊 1 隊、特殊部隊 1 隊及び隊員 10 人を登録する。
- 10.1 本市初の消防団女性消防部が部員 13 人で発足。
- 11.22 本市消防職員による第 1 号救急救命士（1 人）が誕生。

- ・阪神・淡路大震災 M7.3 死者 6,434 人
- ・地下鉄サリン事件



七都県市合同防災訓練に参加



消防団女性消防部が発足

1996
(平成 8 年)

便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ

- 4.1 高規格救急自動車の本格的運用。
- 10.1 消防組織法改正に伴い、流山市消防本部消防職員委員会を設置する。



東葛中部地区連合水防団水防演習の様子

1997
(平成 9 年)

つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火

- 2.8 消防力の増強を図るため、「消防協力隊」を消防団退団者 115 名の人員で創設。
- 4.1 10 代消防長に根本英男氏（消防署長）が就任。6 代消防署長に田村清氏（予防課長）が就任。消防本部・消防署の機構改革を行い、警防課を廃し、消防総務課（総務課）、予防消防課（予防課・警防課）、指令課の 3 課制とする。消防署消防救助係を、消防係、救助係の 2 係制とする。
- 10.23 第 13 回全国婦人消防操法大会に、本市消防団女性消防部員で編成した流山市婦人消防隊が出場し、優秀賞（銅メダル）を受賞。



全国婦人消防操法大会で優秀賞を受賞

年

流山市消防本部沿革

社会の動き・災害等

1998
(平成 10 年)

気をつけて はじめはすべて 小さな火

11.10 北分署に水難救助用ボート（ホーバークラフト）を配置。



新たな救助の力
ホーバークラフトを配置

1999
(平成 11 年)

あぶないよ ひとりぼっちにした その火

4.1 11 代消防長に田村清氏（消防署長）が就任。7 代消防署長に田中晋氏（消防総務課長）が就任。

11.18 はしご付消防ポンプ自動車（41.0m 級）を更新整備し、消防署に配置。



はしご付消防ポンプ自動車（41.0m 級）
を更新整備

・東海村 JCO 臨界
事故

年

流山市消防本部沿革

社会の動き・災害等

2000
(平成 12 年)

火をつけた あなたの責任 最後まで

5.26

秋元浩司消防団長が、財団法人千葉県消防協会副会長並びに同協会東葛飾支部長に就任。

・有珠山噴火
約 1 万人が避難

2001
(平成 13 年)

たしかめて。火を消してから 次のこと

5.1

消防職・団員被服等貸与規則を一部改正する。

・大阪教育大学教
育学部附属池田
小学校事件

8.1

第 37 回千葉県消防操法大会に東葛飾支部の代表として、本市消防団第 13 分団が小型ポンプ操法の部に出場。



千葉県消防操法大会に第 13 分団が出場

2002
(平成 14 年)

消す心 置いてください 火のそばに

4.1

消防署組織の見直しを図り、2 署 2 分署体制とする。2 署制に伴い、消防署を「中央消防署」に改称し、北分署を「北消防署」に昇格する。北消防署に庶務係と予防係の 2 係を増設し、4 係制とする。3 代消防団長秋元浩司氏が勇退し、4 代消防団長に小澤茂之氏が就任。東分署配置の高規格救急自動車の本格的運用。



全国火災予防運動期間中における音楽隊パレード

2003
(平成 15 年)

その油断 火から炎へ 災いへ

5.7

東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会発足。

2004
(平成 16 年)

火は消した？ いつも心に きいてみて

- 3.26 財団法人日本消防協会から、消防団司令車が寄贈される。
- 4.1 12 代消防長に田中晋氏（消防次長）が就任。消防本部組織の見直しを図り、消防総務課に警防係を加え 3 係制とし、予防消防課を予防課（2 係）に改称した。北消防署配置の高規格救急自動車の本格的運用。
- 6.1 指令業務の一層の充実を図るため、最新の消防救急指令装置を導入し、本格的な運用を開始。
- 11.13 流山市常備消防 40 周年記念式典を開催。

・新潟県中越地震
死者 68 人

中央消防署配備の化学車



中央消防署配備の救助工作車

2005
(平成 17 年)

あなたです 火のあるくらしの 見はり役

- 5.18 水難救助艇（ゴムボート）を中央消防署南分署に更新配置。
- 7.1 4 代消防団長小澤茂之氏が勇退し、5 代消防団長に加藤勝夫氏が就任。

・JR 福知山線脱線
事故

中央消防署配備の救急車



中央消防署配備の水槽車

2006
(平成 18 年)

消さないで あなたの心の 注意の火

- 4.1 13 代消防長に鈴木新一氏（消防次長）が就任。

2007
(平成 19 年)

火は見てる あなたが離れる その時を

- 4.1 14 代消防長に倉持義男氏（消防次長）が就任。消防本部組織の見直しを図り、消防総務課を 2 係（総務係、管理係）にし指令課を消防防災課（災害対策係、指令 1 係、指令 2 係）に改称した。
- 8.22 第 36 回全国消防救助技術大会に、基本泳法の部で出場。

年

流山市消防本部沿革

社会の動き・災害等

2008
(平成 20 年)

火のしまつ 君がしなくて 誰がする

- 4.1 15 代消防長に大越一夫氏（消防次長）が就任。
- 8.31 第 37 回全国消防救助技術大会に、障害突破の部で出場。



全国消防救助大会（北九州）

2009
(平成 21 年)

消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子

- 4.1 消防署組織の見直しを図り、4 署体制とする。4 署制に伴い、東分署を「東消防署」に、南分署を「南消防署」に昇格する。東消防署、南消防署に庶務係と予防係の 2 係を増設し、4 係制とする。南消防署に普通ポンプ車を配置。
- 8.21 第 38 回全国消防救助技術大会に、障害突破の部で出場。



新型の救助工作車を配備

2010
(平成 22 年)

「消したかな」 あなたを守る 合言葉

- 3.12 総務省消防庁から、救助資機材搭載型車両を無償貸与され、第 5 分団に配置。
- 4.1 16 代消防長に高市豊勝氏（消防次長）が就任。
- 11.26 社団法人日本損害保険協会から、小型動力ポンプ付軽消防自動車 が寄贈される。



流山市消防音楽隊 演奏会 in 流山おおたかの森駅前広場

2011
(平成 23 年)

消したはず 決めつけしないで もう一度

- 3.11 東日本大震災発生。甚大な被害をもたらした東北地方での活動要請を国から受け緊急消防援助隊千葉県隊として 3 月 14 日～ 21 日まで岩手県陸前高田市へ 16 名の職員を派遣し人命検索活動に従事したほか、福島県福島市に 3 月 22 日～ 4 月 8 日、4 月 13 日～ 21 日まで 24 名の職員を派遣し救急搬送業務等に従事した。



緊急消防援助隊 陸前高田市での活動

- ・東日本大震災 M9.0 死者行方不明約 18,000 人
- ・福島第一原発事故

2012
(平成 24 年)

消すまでは 出ない行かない 離れない

- 4.1 17 代消防長に久保明氏（消防次長）が就任。
- 6.1 5 代消防団長加藤勝夫氏が勇退し、6 代消防団長に小倉邦裕氏が就任。
- 6.9 流山中央ロータリークラブから指揮車が寄贈され、中央消防署に配置。
- 8.7 第 41 回全国消防救助技術大会に、障害突破の部で出場し第 3 位入賞。
- 10.27 第 34 回千葉県消防音楽隊フェスティバルを流山市文化会館にて開催。

・笹子トンネル天井板崩落事故



寄贈された指揮車



障害突破訓練の様子

2013
(平成 25 年)

消すまでは 心の警報 ON のまま

- 4.11 6 市（流山市・松戸市・市川市・野田市・鎌ヶ谷市・浦安市）による千葉北西部消防指令センターの運用開始。
- 11.25 消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念式典が東京ドームで開催された。

2014
(平成 26 年)

もういいかい 火を消すまでは まあだだよ

- 2.5 南消防署新庁舎が竣工し業務開始。
- 4.1 消防職員の定員 190 名となる。中央消防署救急隊を増隊し 2 隊とする。
- 8.27 第 43 回全国消防救助技術大会に、はしご登はんの部、応用登はんの部、障害突破の部で出場権を獲得。（広島県で大規模な土砂災害が発生したため、全国大会中止）

・御嶽山噴火

消防救助技術関東地区指導会
人命救助の部に出場

南消防署新庁舎が完成

年

流山市消防本部沿革

社会の動き・災害等

2015
(平成 27 年)

無防備な 心に火災が かくれんば

- 8.29 第 44 回全国消防救助技術大会に、はしご登はんの部及び障害突破の部で出場し、はしご登はんの部で第 1 位、障害突破の部で第 5 位に入賞。
- 9.10 台風 18 号による「関東・東北豪雨」で鬼怒川堤防が決壊。消防庁長官からの出動の求めに基づき緊急消防援助隊千葉県隊として 9 月 15 日～ 17 日まで茨城県常総市へ 8 名の職員を派遣し、人命検索活動に従事した。



芝崎で発生した倉庫火災の記録

2016
(平成 28 年)

消しましょう その火その時 その場所で

- 8.24 第 45 回全国消防救助技術大会に、障害突破の部で出場し第 2 位入賞。



『おおたか君』が熱血ちばキャラ運動会で大活躍！

- ・熊本地震 M7.3
熊本城損壊・土砂崩れ多数
- ・相模原障害者施設殺傷事件

2017
(平成 29 年)

火の用心 ことばを形に 習慣に

- 4.1 18 代消防長に北野浩一郎氏(消防次長)が就任。
- 8.23 第 46 回全国消防救助技術大会に、引揚救助の部、障害突破の部で出場し、障害突破の部で第 8 位入賞。



初の快挙！引揚救助チーム、消防救助技術関東地区指導会で全国大会への切符を手に

2018
(平成 30 年)

忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認

- 4.1 消防職員の定員を 200 名に改める。(実員 192 名)

- ・西日本豪雨
死者 200 人
超広範囲で浸水・土砂災害
- ・北海道胆振東部地震

2019
(平成 31 年)

ひとつずつ いいね！で確認 火の用心

- 4.1 第 9 分団と第 10 分団を統合し、22 ヶ分団とする。消防団員の条例定員を 300 名に改正。

- ・京都アニメーション放火事件

- 4.1 千葉県消防学校が市原市菊間 783 番地 1 に移転し供用開始。
第 38 回東葛飾支部消防操法大会を流山スポーツフィールドで開催。

- ・新元号「令和」施行

- 9.20 台風 15 号が千葉県を中心に甚大な被害をもたらす。「災害時における千葉県内市町村間の相互応援に関する基本協定」に基づき、9 月 20 日～10 月 6 日まで館山市に職員を派遣し、被災地での支援活動に従事した。



火災予防の願いを込めて小山小学校にて防火人文字イベントを開催

2020
(令和 2 年)

その火事を 防ぐあなたに 金メダル

- 4.1 消防職員の定員を 222 名に改める。(実員 199 名) 救急隊 1 隊増隊し 6 隊運用を開始。(中央消防署 1 隊、東消防署 1 隊、南消防署 2 隊、北消防署 2 隊)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大緊急事態宣言

- 11.1 流山市消防庁舎建設基本計画策定。(消防本部・中央消防署移転事業)



当初提案された消防本部中央消防署のイメージ図



利根運河で実施した水難救助訓練の様子

年

流山市消防本部沿革

社会の動き・災害等

2021
(令和3年)

おうち時間 家族で点検 火の始末

- 1.6 本市の人口が20万人に到達。
- 2.1 10市（流山市・松戸市・市川市・野田市・鎌ヶ谷市・浦安市・柏市・習志野市・八千代市・我孫子市）による「ちば北西部消防指令センター」の運用開始。
- 4.1 19代消防長に須藤恭成氏（消防次長）が就任。



流山市役所での歳末火災予防特別警戒出発式

- ・熱海土石流災害
- ・新型コロナウイルス第5波（デルタ株流行）

2022
(令和4年)

お出かけは マスク戸締り 火の用心

- 8.26 第50回全国消防救助技術大会に、ロープ応用登はんの部で出場し、第3位入賞。

全国消防救助技術大会
ロープ応用登はんの部 第3位

建物火災防ぎょ活動の様子

- ・安倍晋三元首相銃撃事件
- ・新型コロナウイルス第6～7波（オミクロン株流行）

2023
(令和5年)

火を消して 不安を消して つなぐ未来

- 4.1 6代消防団長小倉邦裕氏が勇退し、7代消防団長に梅澤一雄氏が就任。
- 10.1 無人航空機（ドローン）運用要綱を制定し、有資格者6名にて運用を開始。
- 10.12 千葉県で初めて警防活動技術大会が開催され、本市を代表して中央消防署消防隊が出場。

テクノロジーの未来を手に入れる
ドローン運用のスタート

- ・台風6号・7号
広域で豪雨・土砂崩れ
- ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行、ウィズコロナ政策へ本格転換

年

流山市消防本部沿革

社会の動き・災害等

2024
(令和 6 年)

守りたい 未来があるから 火の用心

- 7.27 第 30 回全国消防操法大会千葉県代表選考会に東葛飾支部の代表として、本市消防団第 6 分団が小型ポンプ操法の部に出場。
- 8.23 第 52 回全国消防救助技術大会に、ロープ応用登はんの部で出場し第 1 位。
- 9.1 新流山中央救助 1 運用開始。

・能登半島地震
(元日) M7.6
死者 200 人以上

・羽田空港日航機
炎上事故



23 年ぶりの快挙！全国消防操法大会千葉県代表選考会に出場



全国消防救助技術大会ロープ応用登はんの部 優勝

2025
(令和 7 年)

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

- 4.1 日勤救急隊発足。
- 6.23 新消防本部・中央消防署の開設。
- 7.12 消防本部・中央消防署新庁舎開署記念式典を挙行。
- 8.30 第 53 回全国消防救助技術大会に、ロープ応用登はんの部で出場。
- 9.10 新流山中央梯子 1 運用開始。

・大阪・関西万博
が開催

・岩手県大船渡市
赤崎町で林野火
災が発生
大規模な延焼と
なり、同年 4 月
7 日に鎮火



消防本部・中央消防署新庁舎開署記念式典

歴代消防長・消防団長

歴代消防長

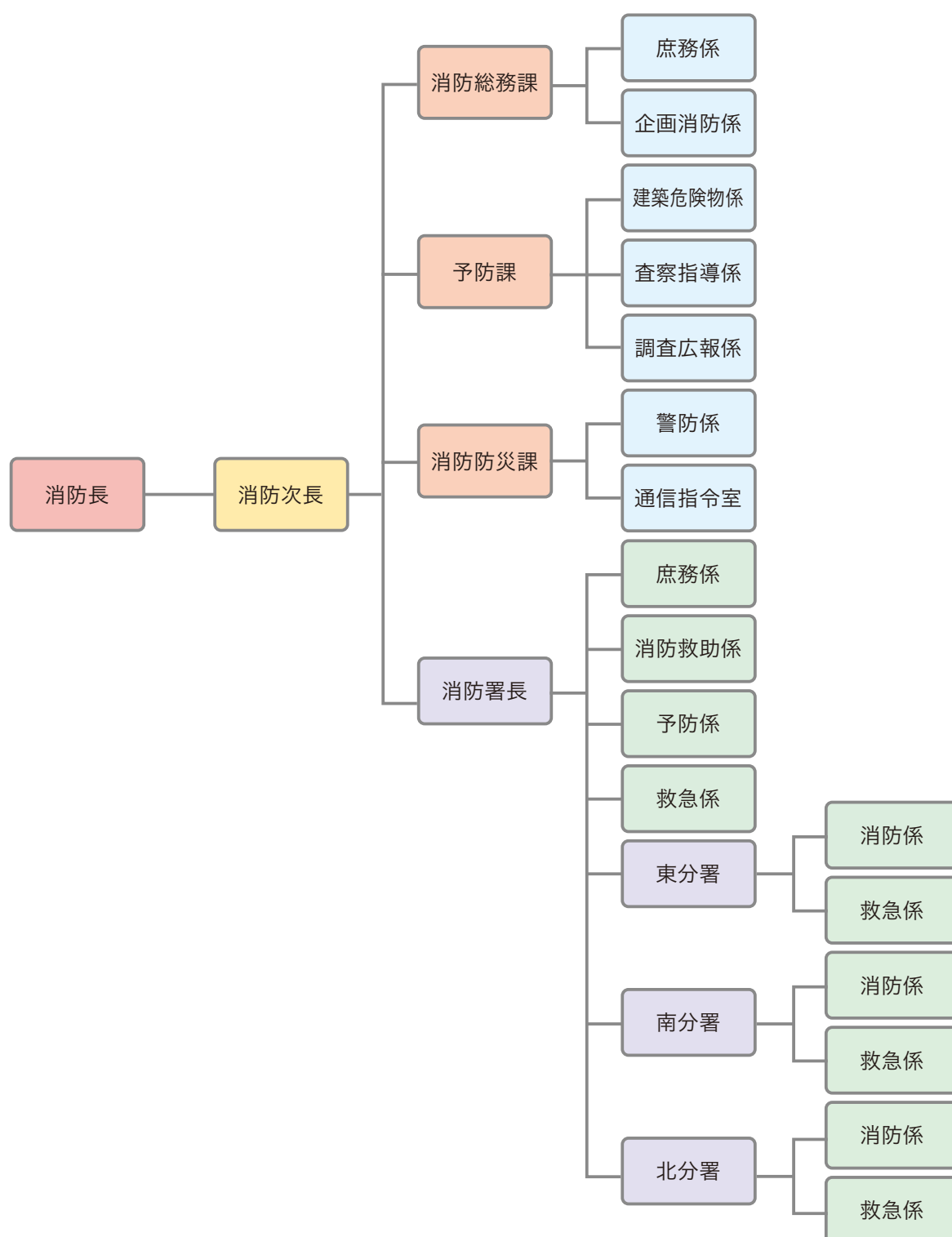
代	氏 名	在職期間
初 代	石 塚 健	昭和 41 年 4 月 1 日 ～ 昭和 42 年 4 月 17 日
二 代	榎本清次郎	昭和 42 年 4 月 18 日 ～ 昭和 42 年 5 月 19 日
三 代	岩井 茂雄	昭和 42 年 5 月 20 日 ～ 昭和 45 年 4 月 26 日
四 代	井上 昇	昭和 45 年 4 月 27 日 ～ 昭和 51 年 3 月 31 日
五 代	杉村 芳男	昭和 51 年 4 月 1 日 ～ 昭和 58 年 3 月 31 日
六 代	吉野 芳矩	昭和 58 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 年 3 月 31 日
七 代	齊藤 勝夫	平成 2 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 年 6 月 30 日
八 代	柏木 謙介	平成 2 年 7 月 1 日 ～ 平成 6 年 3 月 31 日
九 代	茂呂 悌市	平成 6 年 4 月 1 日 ～ 平成 9 年 3 月 31 日
十 代	根本 英男	平成 9 年 4 月 1 日 ～ 平成 11 年 3 月 31 日
十 一 代	田村 清	平成 11 年 4 月 1 日 ～ 平成 16 年 3 月 31 日
十 二 代	田中 晋	平成 16 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 3 月 31 日
十 三 代	鈴木 新一	平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日
十 四 代	倉持 義男	平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日
十 五 代	大越 一夫	平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日
十 六 代	高市 豊勝	平成 22 年 4 月 1 日 ～ 平成 24 年 3 月 31 日
十 七 代	久保 明	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日
十 八 代	北野浩一郎	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 令和 3 年 3 月 31 日
十 九 代	須藤 恭成	令和 3 年 4 月 1 日 ～

歴代消防団長

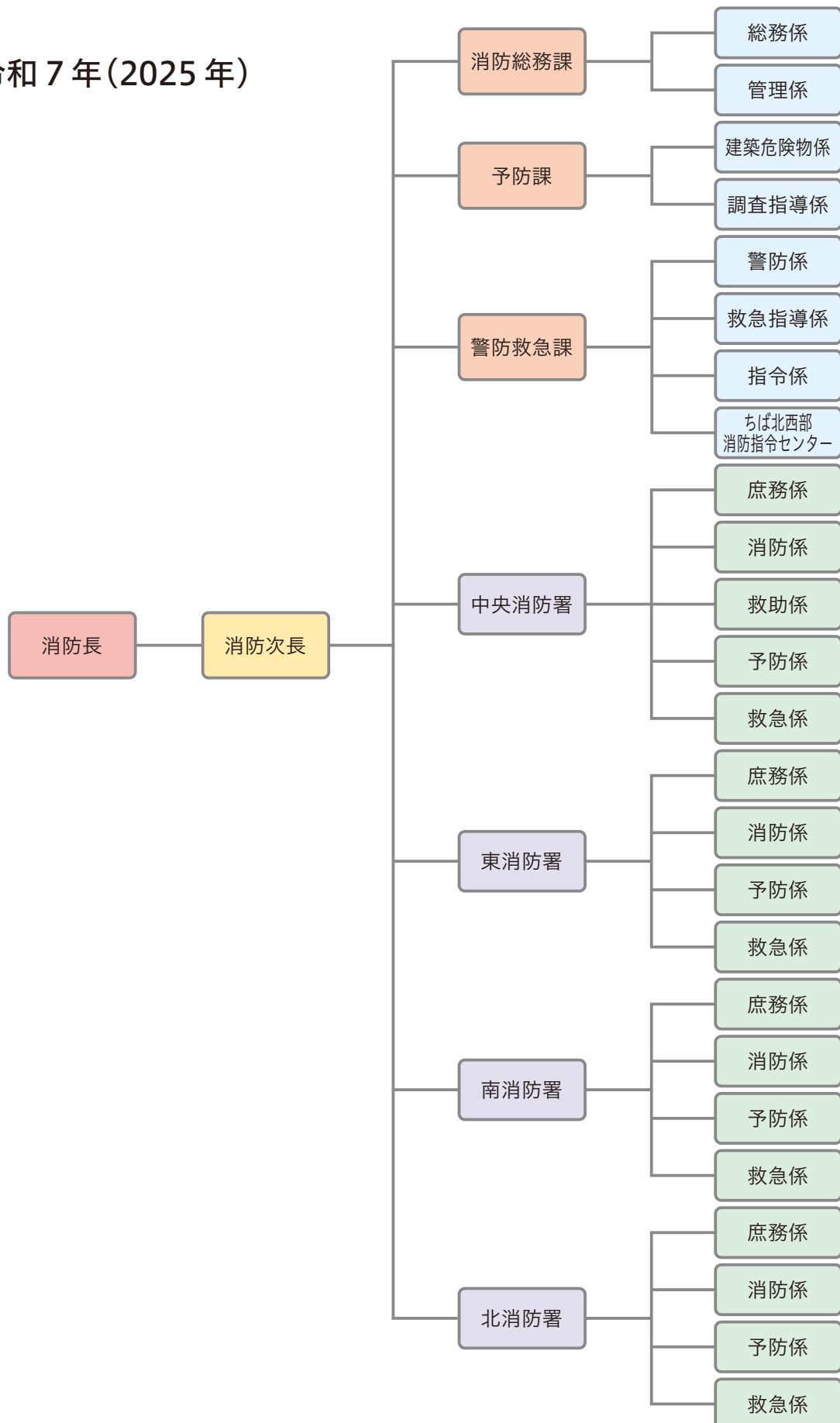
代	氏 名	在職期間
初 代	水代 健司	昭和 29 年 4 月 1 日 ～ 昭和 47 年 5 月 31 日
二 代	池田 讓吉	昭和 47 年 6 月 1 日 ～ 昭和 62 年 3 月 31 日
三 代	秋元 浩司	昭和 62 年 4 月 1 日 ～ 平成 14 年 3 月 31 日
四 代	小澤 茂之	平成 14 年 4 月 1 日 ～ 平成 17 年 6 月 30 日
五 代	加藤 勝夫	平成 17 年 7 月 1 日 ～ 平成 24 年 5 月 31 日
六 代	小倉 邦裕	平成 24 年 6 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
七 代	梅澤 一雄	令和 5 年 4 月 1 日 ～

消防組織の変遷

■ 平成 6 年（1994 年）



■ 令和 7 年(2025 年)

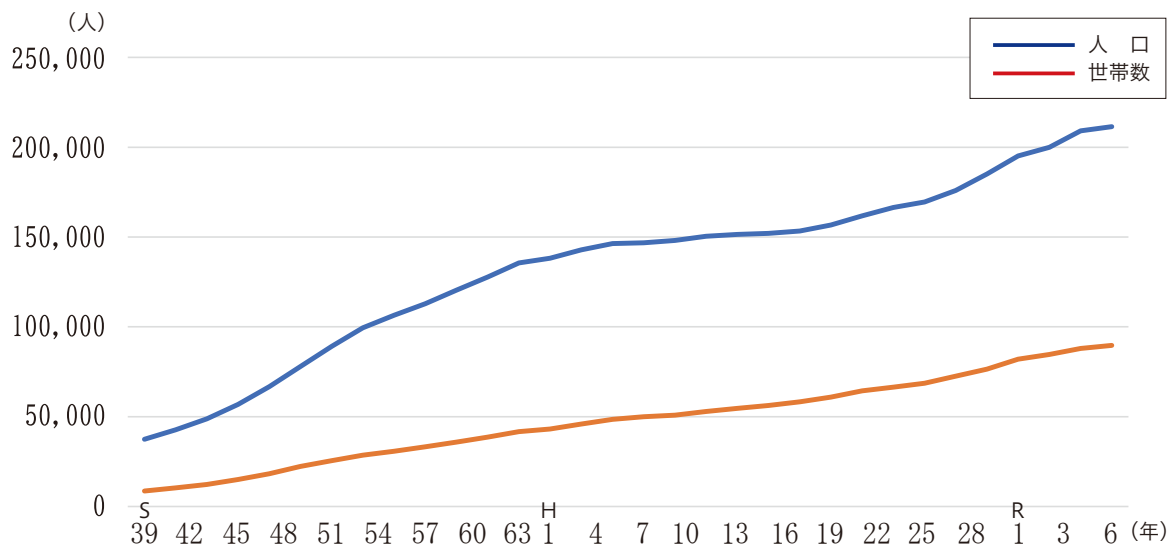


人口・世帯数の推移

■過去 60 年間の人口&世帯数

年	人口	世帯数	年	人口	世帯数	年	人口	世帯数
1964(S 39)	37,422	8,615	1984(S 59)	120,507	35,920	2004(H16)	152,026	56,966
'65(S 40)	39,691	9,332	'85(S 60)	124,594	37,472	'05(H17)	153,345	58,225
'66(S 41)	42,649	10,375	'86(S 61)	127,733	38,662	'06(H18)	155,085	59,459
'67(S 42)	45,160	11,178	'87(S 62)	131,805	39,834	'07(H19)	156,686	60,884
'68(S 43)	48,844	12,308	'88(S 63)	135,599	41,609	'08(H20)	158,949	62,555
'69(S 44)	52,245	13,526	'89(H 1)	138,269	43,101	'09(H21)	161,728	64,398
'70(S 45)	56,882	15,075	'90(H 2)	140,779	44,567	'10(H22)	164,372	66,074
'71(S 46)	61,718	16,602	'91(H 3)	142,876	45,879	'11(H23)	166,496	66,376
'72(S 47)	66,764	18,180	'92(H 4)	144,950	47,388	'12(H24)	167,601	67,411
'73(S 48)	71,948	20,213	'93(H 5)	146,322	48,455	'13(H25)	169,461	68,663
'74(S 49)	77,937	22,363	'94(H 6)	146,687	49,140	'14(H26)	172,334	70,440
'75(S 50)	82,624	23,665	'95(H 7)	146,865	49,954	'15(H27)	175,923	72,578
'76(S 51)	89,143	25,562	'96(H 8)	146,920	49,894	'16(H28)	180,248	73,931
'77(S 52)	95,451	27,381	'97(H 9)	148,042	50,808	'17(H29)	185,071	76,465
'78(S 53)	99,504	28,529	'98(H10)	149,368	51,793	'18(H30)	190,145	79,252
'79(S 54)	103,256	29,724	'99(H11)	150,402	52,851	'19(R 1)	195,087	81,950
'80(S 55)	106,441	30,807	2000(H12)	151,089	53,851	'20(R 2)	199,920	84,683
'81(S 56)	109,618	31,927	'01(H13)	151,439	54,634	'21(R 3)	205,210	85,953
'82(S 57)	112,909	33,182	'02(H14)	151,922	55,543	'22(R 4)	209,099	87,988
'83(S 58)	116,615	34,525	'03(H15)	152,007	56,256	'23(R 5)	211,431	89,673
						'24(R 6)	213,260	91,132

■過去 60 年間の人口&世帯の推移

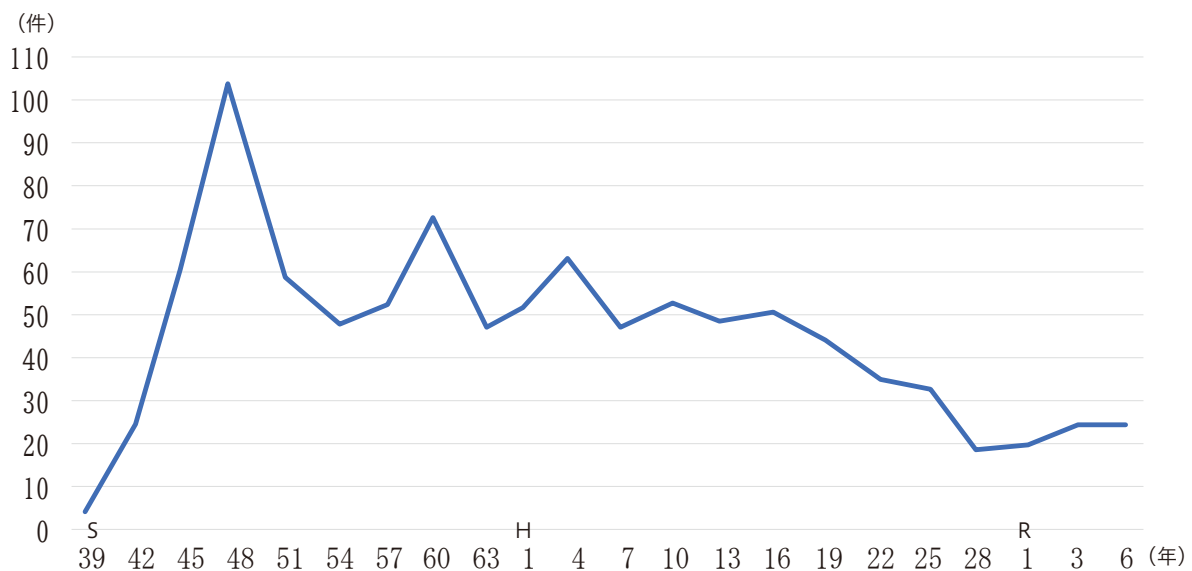


火災発生状況の推移

■過去 60 年間の火災件数・種別

年	件数	種別			
		建物	林野	車両	その他
1964(S 39)	5	4	0	0	1
'65(S 40)	11	7	1	0	3
'66(S 41)	19	9	8	1	1
'67(S 42)	25	13	9	2	1
'68(S 43)	39	10	21	1	7
'69(S 44)	34	17	3	2	12
'70(S 45)	61	25	7	2	27
'71(S 46)	63	22	6	8	27
'72(S 47)	51	24	4	4	19
'73(S 48)	106	35	12	2	57
'74(S 49)	63	25	7	1	30
'75(S 50)	77	20	7	4	46
'76(S 51)	60	21	9	1	29
'77(S 52)	57	21	7	3	26
'78(S 53)	57	31	6	2	18
'79(S 54)	47	26	2	3	16
'80(S 55)	50	19	11	2	18
'81(S 56)	64	28	1	6	29
'82(S 57)	52	32	2	1	17
'83(S 58)	55	31	1	3	20
1984(S 59)	56	33	1	2	20
'85(S 60)	72	31	1	9	31
'86(S 61)	41	18	0	2	21
'87(S 62)	55	27	1	3	24
'88(S 63)	47	20	0	4	23
'89(H 1)	51	25	0	7	19
'90(H 2)	58	35	0	2	21
'91(H 3)	54	24	0	8	22
'92(H 4)	63	32	0	9	22
'93(H 5)	45	21	0	8	16
'94(H 6)	53	25	0	7	21
'95(H 7)	47	27	0	3	17
'96(H 8)	43	27	0	2	14
'97(H 9)	56	34	0	6	16
'98(H10)	53	33	0	8	12
'99(H11)	32	20	0	5	7
2000(H12)	45	27	0	9	9
'01(H13)	49	31	0	8	10
'02(H14)	51	32	0	5	14
'03(H15)	37	23	0	7	7
2004(H16)	50	33	0	2	15
'05(H17)	55	33	0	10	12
'06(H18)	48	31	0	3	14
'07(H19)	44	27	0	7	10
'08(H20)	32	19	0	5	8
'09(H21)	35	21	0	4	10
'10(H22)	35	20	0	9	6
'11(H23)	22	15	0	1	6
'12(H24)	30	20	0	6	4
'13(H25)	33	19	0	5	9
'14(H26)	21	12	0	3	6
'15(H27)	33	18	0	4	11
'16(H28)	19	10	0	2	7
'17(H29)	28	12	0	5	11
'18(H30)	27	17	0	3	7
'19(R 1)	20	13	1	5	1
'20(R 2)	22	15	0	2	5
'21(R 3)	25	10	0	6	9
'22(R 4)	28	17	0	1	10
'23(R 5)	32	18	0	6	8
'24(R 6)	25	11	0	1	13

■過去 60 年間の火災件数の推移

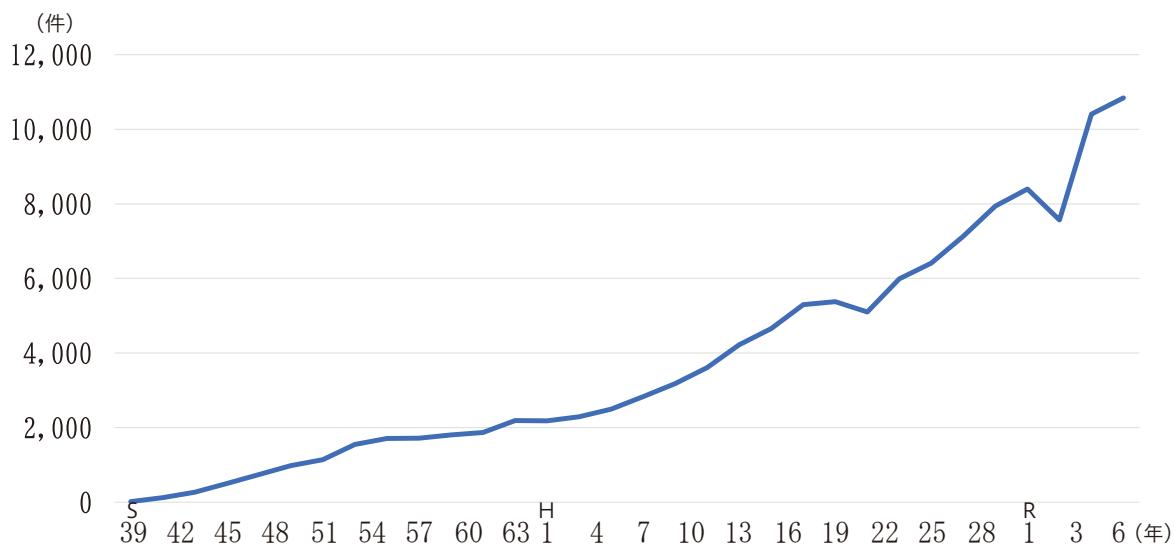


救急出動件数の推移

過去 60 年間の救急件数・種別

年	件数	種別				年	件数	種別				年	件数	種別			
		急病	一般 負傷	交通 事故	その他			急病	一般 負傷	交通 事故	その他			急病	一般 負傷	交通 事故	その他
1964(S39)	15	1	0	6	8	1984(S59)	1,806	885	273	399	249	2004(H16)	5,016	3,029	621	769	597
'65(S40)	63	22	1	29	11	'85(S60)	1,822	899	173	478	272	'05(H17)	5,298	3,308	694	736	560
'66(S41)	124	37	9	59	19	'86(S61)	1,867	954	202	474	237	'06(H18)	5,218	3,370	620	636	592
'67(S42)	179	71	16	74	18	'87(S62)	1,998	1,013	226	518	241	'07(H19)	5,376	3,464	671	683	558
'68(S43)	265	100	17	116	32	'88(S63)	2,190	1,102	229	575	284	'08(H20)	5,237	3,332	717	628	560
'69(S44)	397	157	31	128	81	'89(H1)	2,179	1,058	236	576	309	'09(H21)	5,100	3,289	716	581	514
'70(S45)	501	228	40	177	56	'90(H2)	2,269	1,172	239	582	276	'10(H22)	5,713	3,751	813	556	593
'71(S46)	625	311	50	203	61	'91(H3)	2,291	1,178	254	588	271	'11(H23)	5,987	3,976	829	589	593
'72(S47)	740	411	69	199	61	'92(H4)	2,572	1,363	278	639	292	'12(H24)	6,187	4,077	926	619	565
'73(S48)	901	518	105	209	69	'93(H5)	2,491	1,377	256	593	265	'13(H25)	6,414	4,296	903	578	637
'74(S49)	983	599	111	198	75	'94(H6)	2,723	1,484	284	640	315	'14(H26)	6,674	4,408	969	588	709
'75(S50)	1,119	711	128	222	58	'95(H7)	2,830	1,616	270	608	336	'15(H27)	7,134	4,731	994	610	799
'76(S51)	1,143	642	170	219	112	'96(H8)	2,967	1,659	336	648	324	'16(H28)	7,617	4,988	1,136	631	862
'77(S52)	1,401	827	186	227	161	'97(H9)	3,177	1,795	332	654	396	'17(H29)	7,937	5,125	1,217	579	1,016
'78(S53)	1,546	846	203	309	188	'98(H10)	3,378	1,935	381	641	421	'18(H30)	8,289	5,494	1,202	573	1,020
'79(S54)	1,677	948	219	314	196	'99(H11)	3,608	2,180	394	626	408	'19(R1)	8,398	5,600	1,338	561	899
'80(S55)	1,705	954	211	342	198	2000(H12)	3,944	2,270	443	717	514	'20(R2)	7,569	4,996	1,305	418	850
'81(S56)	1,665	842	225	392	206	'01(H13)	4,221	2,529	466	706	520	'21(R3)	8,470	5,668	1,387	463	952
'82(S57)	1,718	871	203	423	221	'02(H14)	4,548	2,755	512	705	576	'22(R4)	10,405	7,307	1,555	527	1,016
'83(S58)	1,746	892	210	403	241	'03(H15)	4,657	2,784	569	724	580	'23(R5)	10,843	7,578	1,717	532	1,016
												'24(R6)	10,831	7,381	1,838	532	1,080

過去 60 年間の救急件数の推移



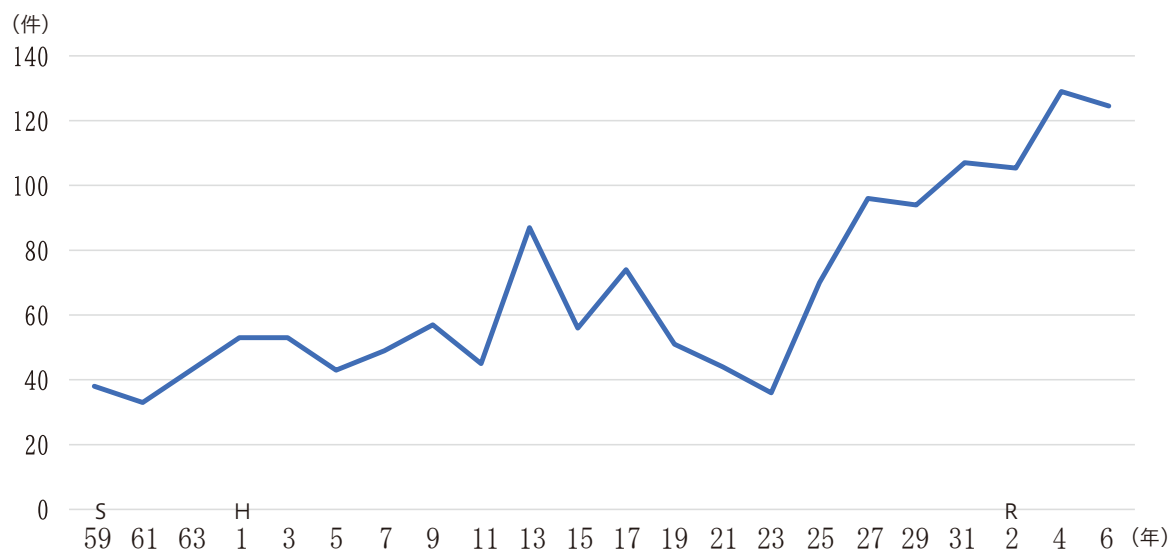
救助出動件数の推移

■ 過去 40 年間の救助件数・種別

年	件数	種別			
		火災	交通事故	建物等	その他
1984(S 59)	38	26	11	0	1
'85(S 60)	35	22	11	0	2
'86(S 61)	33	14	11	0	8
'87(S 62)	45	26	17	0	2
'88(S 63)	43	12	24	4	3
'89(H 1)	53	19	25	2	7
'90(H 2)	59	33	15	0	11
'91(H 3)	53	22	15	7	9
'92(H 4)	46	25	15	1	5
'93(H 5)	43	17	18	2	6
'94(H 6)	55	24	19	1	11
'95(H 7)	49	21	22	0	6
'96(H 8)	55	18	24	2	11
'97(H 9)	57	22	21	0	14
'98(H10)	61	23	25	3	10
'99(H11)	45	13	15	0	17
2000(H12)	76	18	31	5	22
'01(H13)	87	28	31	5	23
'02(H14)	70	17	24	5	24
'03(H15)	56	19	19	4	14

年	件数	種別			
		火災	交通事故	建物等	その他
2004(H16)	73	22	17	2	32
'05(H17)	74	23	23	6	22
'06(H18)	70	25	23	16	6
'07(H19)	51	19	14	10	8
'08(H20)	40	9	17	8	6
'09(H21)	44	8	16	10	10
'10(H22)	40	2	8	16	14
'11(H23)	36	2	14	7	13
'12(H24)	55	3	20	23	9
'13(H25)	70	4	25	27	14
'14(H26)	84	3	21	36	24
'15(H27)	96	2	23	53	18
'16(H28)	93	4	12	63	14
'17(H29)	94	0	20	51	23
'18(H30)	114	2	16	72	24
'19(R 1)	107	0	20	64	23
'20(R 2)	103	3	17	53	30
'21(R 3)	132	1	17	90	24
'22(R 4)	129	0	16	86	27
'23(R 5)	129	2	18	72	37
'24(R 6)	122	0	11	75	36

■ 過去 40 年間の救助件数の推移



3 消防施設と消防車両

消防施設

消防本部・中央消防署

所在地：流山市大畔 410 番地
建築年月日：令和7年6月23日
建物構造：鉄筋コンクリート造4階建
延べ面積：4,350.11㎡



中央消防署訓練場



東消防署

所在地：流山市前ヶ崎449番地の1
 建築年月日：昭和63年3月25日
 建物構造：鉄筋コンクリート造2階建
 延べ面積：763.11㎡



東消防署訓練場



3 消防施設と消防車両

南消防署

所在地：流山市南流山3丁目9番地の6

建築年月日：平成26年1月15日

建物構造：鉄筋コンクリート造3階建

延べ面積：1,523.26㎡



北消防署

所在地：流山市美原2丁目139番地の1

建築年月日：昭和60年2月28日

建物構造：鉄筋コンクリート造2階建

延べ面積：760.81㎡



消防団施設

■ 流山市消防団第1方面隊

第1分団



管轄区域

流山・流山5丁目・流山6丁目・流山7丁目
流山8丁目・流山9丁目

第4分団



管轄区域

木・木一丁目・木二丁目・木三丁目・南流山2丁目
南流山3丁目・南流山6丁目・南流山7丁目
南流山8丁目・南流山9丁目・南流山10丁目

第5分団



管轄区域

鰯ヶ崎・鰯ヶ崎一丁目・鰯ヶ崎二丁目・南流山1丁目
南流山4丁目・南流山5丁目

第6分団



管轄区域

西平井・西平井一丁目・西平井二丁目・西平井三丁目
平和台2丁目・平和台3丁目・平和台4丁目

3 消防施設と消防車両

■ 流山市消防団第2方面隊

第2分団



管轄区域

流山1丁目・流山2丁目・流山3丁目・流山4丁目

第3分団



管轄区域

加一丁目の一部・加四丁目の一部・加五丁目・加六丁目

第7分団



管轄区域

加・加一丁目の一部（第3分団の受持ち区域とする加一丁目の区域を除く）・加二丁目・加三丁目・加四丁目（第3分団の受持ち区域とする加四丁目の区域を除く）
平和台1丁目・平和台5丁目

第8分団



管轄区域

三輪野山・三輪野山一丁目・三輪野山二丁目
三輪野山三丁目・三輪野山四丁目・三輪野山五丁目
おおたかの森西一丁目・おおたかの森西二丁目
おおたかの森三丁目・おおたかの森四丁目

■ 流山市消防団第3方面隊

第12分団



管轄区域

平方・美原1丁目・美原2丁目・美原3丁目
美原4丁目・平方村新田

第13分団



管轄区域

中野久木・富士見台・富士見台1丁目・富士見台2丁目
森のロジスティクスパークニ丁目

第14分団



管轄区域

北・小屋・上新宿・上新宿新田・南・若葉台
西初石1丁目・西初石2丁目・西初石3丁目
森のロジスティクスパーク三丁目
※現在建て替えのため、北消防署にて運用中

第15分団



管轄区域

谷・桐ヶ谷・上貝塚・下花輪・大畔
森のロジスティクスパーク四丁目

3 消防施設と消防車両

流山市消防団第4方面隊

第10分団



管轄区域

西深井・深井新田・森のロジスティクスパーク一丁目

第11分団



管轄区域

東深井・こうのす台

第22分団



管轄区域

江戸川台東1丁目・江戸川台東2丁目
江戸川台東3丁目・江戸川台東4丁目
江戸川台西1丁目・江戸川台西2丁目
江戸川台西3丁目・江戸川台西4丁目

■ 流山市消防団第5方面隊

第18分団



管轄区域

野々下1丁目・野々下2丁目・野々下3丁目
野々下4丁目・野々下5丁目・野々下6丁目
長崎1丁目・長崎2丁目・市野谷
おおたかの森南一丁目・おおたかの森南二丁目
おおたかの森南三丁目

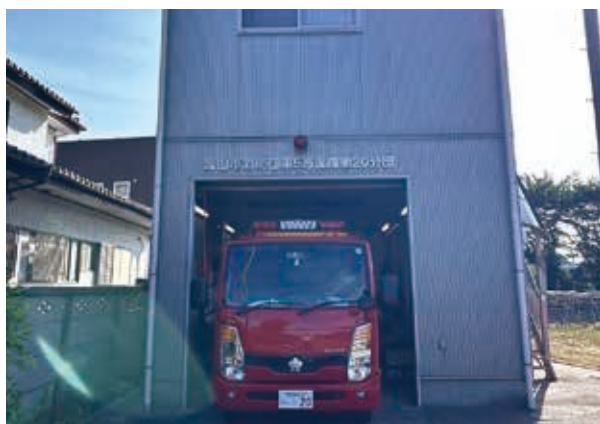
第19分団



管轄区域

駒木・十太夫・美田・おおたかの森東一丁目
おおたかの森東二丁目・おおたかの森東三丁目
おおたかの森東四丁目

第20分団



管轄区域

駒木台・青田

第21分団



管轄区域

東初石1丁目・東初石2丁目・東初石3丁目
東初石4丁目・西初石4丁目・西初石5丁目
おおたかの森北一丁目・おおたかの森北二丁目
おおたかの森北三丁目

3 消防施設と消防車両

■ 流山市消防団第6方面隊

第16分団



管轄区域

前ヶ崎・名都借・西松ヶ丘1丁目・向小金1丁目の一部

第17分団



管轄区域

思井・思井一丁目・中・宮園1丁目・宮園2丁目
宮園3丁目・芝崎・古間木・前平井・後平井

第23分団



管轄区域

松ヶ丘1丁目・松ヶ丘2丁目・松ヶ丘3丁目
松ヶ丘4丁目・松ヶ丘5丁目・松ヶ丘6丁目
向小金1丁目（第16分団の受持ち区域とする向小金
1丁目の区域を除く）・向小金2丁目・向小金3丁目
向小金4丁目

消防車両

指揮車



- 配置先：中央消防署
- 機 装：ネットヨタ千葉

- 配置先：各消防署
警防救急課（日勤救急隊）
計9台（予備車含む）
- 級別等：高規格救急自動車
- 装 備：電動ストレッチャー
（日勤）
- 機 装：・オートワークス京都
・トヨタカスタマイジング
&ディベロップメント
・株式会社ベルリング

高規格救急自動車



化学消防ポンプ自動車



- 配置先：中央消防署
- 級別等：Ⅱ型/A-2 級
- 水 槽：1,500 L
- 薬 液：500 L
- 機 装：株式会社モリタ

水槽付き消防ポンプ自動車



- 配置先：東消防署
南消防署
北消防署
- 級別等：CD- 1 型 /A-2 級
- 水 槽：1,500 L
- 装 備：ホースカー（手引き）
- 艀 装：長野ポンプ株式会社

水槽付き消防ポンプ自動車



- 配置先：中央消防署
南消防署
- 級別等：CD- 1 型 /A-2 級
- 水 槽：800 L
- 装 備：ホースカー
（電動手引き）
- 艀 装：株式会社モリタ

消防ポンプ自動車



- 配置先：東消防署
- 級別等：CD- 1 型 /A-2 級
- 水 槽：無
- 装 備：ホースカー（電動）
- 艀 装：ジーエムいちはら

救助工作車



- 配置先：中央消防署
- 級別等：救助工作車Ⅲ型
- 装 備：クレーン
ウインチ（前後）
照明装置
各種救助器具 etc.
- 艀 装：株式会社モリタ

はしご付消防自動車



- 配置先：中央消防署
- 級別等：40 m級（直進）
- 装 備：バスケット
リフター
放水銃
リモコン式サーチライト
- 艀 装：株式会社モリタ

資機材搬送車



- 配置先：中央消防署
- 装 備：引き出し式
電動リフト
- 艀 装：北村製作所

3 消防施設と消防車両

大型水槽車



- 配置先：中央消防署
- 級別等：Ⅱ型/B-3級
- 装 備：照明装置
- 艀 装：日本ドライケミカル

- 配置先：南消防署
- 装 備：ボートトレーラー用フック
- 艀 装：千葉トヨタ

ボートけん引車



消防業務



生命・身体・財産を守る





現場活動

消防隊は、市民の安心・安全を守るため、火災をはじめとするさまざまな災害に出動し、消火活動や危険要因の排除などを行います。

また、救急隊とともに救急現場へ出動し、現場の安全確保や、救急隊のみでは活動や搬送が困難な場合に、救急活動が円滑に行えるよう支援しています。





三 訓練・研修等

近年、建築技術の進歩や市民の生活様式の変化などにより、災害は高度化・複雑化しています。

こうした時代の変化に即応し、いかなる災害にも冷静沈着に対応できる屈強な消防隊員となるため、日々、訓練や研修を重ね、知識・技術・体力、そして精神力の向上に努めています。



4 各種業務

≡ 査察業務

各消防署では、管轄する防火対象物に対し立入検査を行っています。

将来の要救助者を一人でも減らすため、消防用設備等の維持管理、避難経路の確保、防火管理体制について確認し、違反が認められた場合は指導を行い、是正を促します。

それでも是正されない場合は、警告や命令などの違反処理を実施し、火災や人命にかかわる危険を排除しています。



≡ 水利調査

火災現場で消防にとって最大の武器となるのが「水」です。火災現場では多量の水を使用するため、消火栓や防火水槽の水を用いて消火活動を行います。

現在、流山市には消火栓と防火水槽が約 2,500 基設置されており、火災発生時に有効に活用できるよう、定期的に調査を行い、火災に備えています。

≡ 訓練指導

火災などが発生した場合、消防隊が到着するまでの間の対応は、被害を軽減するうえで非常に重要です。

そのため、自治会や事業所などで実施される消防訓練に職員が赴き、避難時の注意事項や正しい初期消火の方法など、防火・防災に関する指導を行っています。



救急業務

救急現場活動

救急現場では、社会の変化に伴い、より高度で多様な対応が求められています。

救命率を高めるため、各救急隊には救急救命士を配置し、高度な救命処置や適切な応急手当を迅速に実施し、速やかに医療機関へ搬送しています。



さらに、応急手当の普及啓発や救急救命士を中心とした隊員の専門教育の強化、高度な救命資器材の整備などに取り組み、救急体制の充実を図っています。

守る、命。繋ぐ、未来へ。

救急隊員の訓練・研修

救急救命士や経験豊富な救急隊を中心に、出動の合間を縫って訓練を実施し、各救急隊員の技術向上および若手職員の育成に取り組んでいます。

また、救急現場の活動を医師の医学的観点から検証する救急事後検証会や、近隣の医療機関での救急救命士の病院実習、救急隊向け研修会、各地域で開催される学会などに積極的に参加し、知識と技術の向上に努めています。



4 各種業務

三 応急手当講習会

救命率向上を目的として、地域の皆さまを対象に心肺蘇生法や止血法などの応急手当講習会を開催し、応急手当の普及啓発に積極的に取り組んでいます。



三 他市・他機関との連携

他市消防本部（局）と応援協定を締結し、救急出動が逼迫して救急車が一時的に不足した場合には、互いの管轄地域へ出動し助け合っています。

また、治療開始までの時間が生死を左右する緊急事案では、ドクターカー、ラピッドカー、ドクターヘリの出動を要請し、現場に駆け付けた医師と連携して傷病者の救命活動にあたります。



救助業務

■特別救助隊

救助業務は、災害や事故により生命や身体に危険が及んでいる要救助者を、人力や機械器具などを用いて安全な場所に救出し、救護することを目的としています。

救助隊は、あらゆる危険の中で災害の実態を冷静かつ迅速に把握し、資器材を活用して人命救助を最優先に活動しています。

特別救助隊が運用する救助工作車は、令和6年9月に新型車両へと更新されました。

旧救助工作車は平成21年から約15年間にわたり、流山市の救助活動に大きく貢献してまいりました。

今後も知識・技術の向上に邁進し、救助隊一丸となり、市民の生命を守り続けてまいります。



人命救助が最優先 災害に挑む特別救助隊

4 各種業務

≡ 救助出動件数について

救助出動件数は、平成 29 年までは 100 件を超えていませんでしたが、平成 30 年以降は 100 件を超え、出動件数が増加しています。

救助隊は、建物救助、水難救助、車両救助など多岐にわたる救助出動に対応しており、各種災害に応じた資機材や救出方法を用いて活動しています。



車外救出訓練

流鉄株式会社と
合同救出訓練



実際の現場を想定した訓練を日々重ねています。また、市内の都市化や地球温暖化などの気候変動に伴い、自然災害なども多く発生していることから、救助活動の内容も変化しています。

今後もこうした変化を踏まえ、救助活動の高度化を目指して取り組んでまいります。

≡ 消防救助大会出場記録

H20年 第37回	障害突破	全国大会出場(北九州市)
H21年 第38回	障害突破	全国大会出場(横浜市)
H24年 第41回	障害突破	全国大会出場(東京都)
H27年 第44回	障害突破	全国大会出場(神戸市)
	はしご登はん	全国大会出場(神戸市)
H28年 第45回	障害突破	全国大会出場(松山市)
H29年 第46回	引揚救助	全国大会出場(仙台市)
	障害突破	全国大会出場(仙台市)
R 4 年 第50回	ロープ応用登はん	全国大会出場(東京都)
R 6 年 第52回	ロープ応用登はん	全国大会出場(千葉県)



≡ 消防救助技術大会

消防救助技術大会は、救助技術の高度化に必要な基本的要素を錬磨することで、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うことを目的としています。

また、消防救助隊員が一堂に会して競い合い、学び合うことで、他の模範となる消防救助隊員を育成し、住民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目指しています。



引揚救助



障害突破



ロープ応用登はん



はしご登はん



■ 特別救助隊の車両と資器材

近年多発している大規模災害や広域にわたる複雑かつ多様化する災害に対応できるよう、専門的な装備や資器材を備え、高度な教育を受けた隊員の育成に努めています。

また、幅広い救助事案に対応するため、女性救助隊員も加わり活動の幅を広げています。



流山市消防本部 中央消防署・消防訓練塔

高度救助資器材

画像探査機Ⅰ型

狭隘空間でも細いカメラを使って内部の状況や温度、要救助者の状態を確認できる資器材です。

また、集音機能により周囲の音や要救助者の声も確認可能です。



さらに、空気ボンベやアルティアを接続することで、先端から送気ができ、内部の環境も把握できる資器材です。



画像探査機Ⅱ型 (地中音響装置)

瓦礫や土砂の中にいる要救助者の確認や情報収集が可能です。

要救助者と救助隊が直接会話できるため、埋まっている場所の特定や容体の確認にも役立ちます。

さらに、水中での使用にも対応しており、写真撮影や録画機能も備えています。

また、3台の地中音響装置を連動させることで、本体から約30メートル離れた場所でも、装置の半径3メートル、地中内6メートルの範囲で微弱な振動や音を感知し、要救助者の埋没場所を特定できます。



≡ その他新資器材

◇地震警報器

微弱な振動を感知し、警報で周囲に地震等の発生を知らせる装置です。

警報の感度は高・中・低の3段階があり、P波、S波、A波（加速度）の3種類を感知することが可能です。



◇熱画像直視装置

電磁スペクトルの赤外線領域に相当する熱放射を視覚化・計測するカメラです。

火災現場だけでなく、画像モードを切り替えることでさまざまな消防活動に活用できます。

また、静止画や動画を保存できるため、現場活動の振り返りや訓練などにも利用できます。



煙や闇の中でも赤外線を感じし、熱を可視化することで、人や火元を明確に映し出すことができます。

◇水中探査装置（AquaEye）

河川などでの要救助者の確認に用いるソナー装置です。

超音波と人工知能の最新技術を活用し、水中の人体を識別する高度な水中スキャナーです。

超音波の到達距離は最大 50 メートル、垂直方向の広がり（深さ）は最大 5 メートルに達します。

また、装置のセンサー部を下向きにすることで、より深い深度のスキャンも可能です。



◇レスキュー 42

事故現場で車両の転倒や移動を防ぐための資機材です。

また、強固な支点として立坑救助や狹隘空間での救助活動に活用され、安全で効率的な救助活動を支援します。



消防総務課

消防総務課では、消防職員の任免・服務・研修・福利厚生に関する業務をはじめ、消防本部・消防署庁舎や消防団機械器具置場の維持管理、さらに消防本部全体の庶務を担っています。

また、地域防災の要である消防団の充実・強化を目指し、消防団員の研修や訓練、入団促進に向けた取り組みも進めています。

こうした日々の業務を通じて、消防職員や消防団員が安心して活動できるよう支え、市民の皆さまの「安全・安心な暮らし」を陰から守っています。



流山市消防本部を支える舞台裏



≡ 流山市消防出初式

新春恒例の消防出初式は、消防の仕事始めを飾る大切な行事であり、一年間の無火災と地域の安全を祈念する儀式です。

式典では、功労者の表彰や勇壮な一斉放水などの訓練が行われ、消防の士気を高めるとともに、防火・防災への思いを新たにします。



職員採用説明会

流山市消防本部に少しでも関心を持っていただけよう、学生をはじめとした就活生の皆さんに向けて採用説明会を行っています。

市内の学校はもちろん、市外の高校・専門学校・大学にも足を運び、流山市消防本部の魅力や業務内容を広く発信しています。



方面隊長・分団長会議

消防団長をはじめとする消防団幹部と消防職員幹部が一堂に会し、年間の消防団行事の説明や、消防団員の訓練・出動に関する事項などについて協議を行っています。

夏季訓練

消防団員の規律や技術の向上、さらには団結力を高めることを目的として実施されるもので、火災・風水害・大規模災害などに備え、さまざまな実践的な訓練を通じて、いざという時に迅速かつ的確に対応できる力を養っています。



消防団員募集活動

全国的に減少傾向にある消防団員ですが、当市においてもその傾向は例外ではありません。

そこで、女性消防部や外部団体と連携しながら、消防団員の募集活動にも力を入れています。



4 各種業務

Ⅲ 広報活動

消防職員や消防団員の募集活動に加え、公式 Instagram、公式 X（旧 Twitter）、公式 YouTube などの SNS を活用し、火災予防などに関する情報発信も行っています。

これにより、「流山市消防本部」「流山市消防団」の知名度向上を図り、幅広く市民や社会にアピールしています。



消防職員募集ポスター



消防団員募集ポスター

Ⅲ 新消防本部庁舎建設

令和2年から始まった消防本部・中央消防署庁舎の建設では、地域の防災体制をさらに強化するため、最新の設備や機能を備えた庁舎を目指して計画が進められました。

建設にあたっては、さまざまな関係機関と綿密に調整を重ねながら、着実に業務を進めました。



■ 流山市消防団実戦消防操法大会



消防総務課では、流山市消防団員の消火技術の向上と士気の高揚を目的に開催される「流山市消防団実戦消防操法大会」の運営を担っています。

訓練場や大会会場の確保・整備をはじめ、関係機関との連絡調整を行い、大会が円滑に実施できるよう取り組んでいます。

こうした活動を通じて、災害発生時に消防団員が安全に地域を守れるよう、日々業務を推進しています。なお、本大会は令和7年度で第32回を迎えました。



ポンプ車操法の部



小型ポンプ操法の部



予防課

予防業務は、火災の発生を未然に防ぎ火災を起こさせない、万が一発生した際の被害を最小限に留めるために重要な業務です。そのため、防火対象物や危険物施設の安全性を建築の計画段階から細かくチェックし、立入検査や各種届出の確認により継続した安全性の確保に努めています。

また、火災が発生した際には火災原因調査を行い、原因の特定に結び付けることで類似火災の防止に努め、今後の火災予防活動に活かしています。

さらに、市内の事業所等から構成された「流山市防火安全協会」と協力して火災予防の推進を図り、安心安全なまちづくりを目指しています。

≡ 査察業務

防火対象物への立入検査を実施し、消防関係法令への適合状況や火災予防上の安全性をチェックし、適切な指導を行います。

また、重大な違反のある防火対象物には速やかに違反処理を遂行します。



≡ 火災調査

火災の原因調査により出火原因を特定し、類似火災の発生を防止するとともに統計資料をまとめることで、出火原因の傾向を把握して火災予防広報に繋がります。



火災予防活動

一般住宅からの出火防止と被害の軽減のため、「住宅防火対策」を最も重要なスローガンとして掲げ、年間をととして様々な広報活動を実施しています。市民の方々の火災予防に関する正しい知識と意識の向上、また消防をより身近に感じていただけるような火災予防活動に取り組んでいます。



流山市防火安全協会とタイアップした流鉄流山線内での「防火ポスター展」



流山おおたかの森駅南口都市広場で開催した「火災予防フェア 2024」



住宅用火災警報器設置推進の「横断幕」

火災予防に関連した動画も今すぐ
チェックしてみてください！



住宅用火災警報器



消火器



勇気の翼フェア編

4 各種業務

≡ 建物の防火安全指導

建物の建設や改修を行う際、火災のリスクを最小限に抑え、住民や建物利用者の安全を確保するための重要な手続きである「消防同意事務」を行っています。具体的には、建物の設計段階から消防法等に基づき消防用設備が適切に配置されているか、避難経路が確保されているかなど、防火に関する違反等について細かくチェックします。常に、建物利用者の安心・安全を第一に見据えた防火対象物の完成を目指します。



≡ 危険物施設の安全確保

危険物施設の設置等の許認可及び危険物全般に関する安全確保のための指導を行っています。また、定期的な立入検査の実施や年に1回、所轄の警察署と合同で危険物の移送・運搬車両の路上立入検査を実施しています。危険物の適切な保安管理と予防対策の指導を徹底することで、危険物施設からの火災を予防しリスクの低減に努めます。



■ 流山市防火安全協会

私たち流山市防火安全協会は、主に防火防災に関する必要な知識の習得及び防火思想の普及と社会公共の安全と福祉の増進に寄与することを目的に、昭和54年3月に設立されました。市内の防火対象物や危険物施設等の事業所で構成され、流山市消防本部と密接な連携のもとに、様々な行事をととして防火・防災活動の推進に努めています。



職場対抗消火技能大会



幼年消防クラブ結成式



防火人文字

4 各種業務



火災予防フェア 2024



防火ポスター展



流山市民まつり



視察研修

警防救急課

令和7年度から「消防防災課」から「警防救急課」に課名を変更し、警防係・救急指導係・指令係の3つの係を新たに設置しました。

■ 警防係

≡ 防火水槽の検査等

流山市の条例に基づく開発行為などにより届出され、防火水槽は設置されます。その防火水槽が要綱に適合されているか検査を行っています。水槽内の容量は適正であるか、消防隊が有事の際に使用できる位置にあるか等々、事業者と二人三脚で流山市の安心・安全を考えています。



≡ ドローンの運用

ドローンは、災害時における被災状況の把握や要救助者の位置など俯瞰映像を指揮本部に迅速に伝送することで、指揮者の状況判断を支援します。また、熱画像を活用することで、災害時に高温箇所を確認し、有効な放水活動を支援することも可能です。

≡ 車両の更新計画

つくばエクスプレスの開通に伴い人口が増加しており、建築物にあっても高層化・複雑化しています。また、近年の異常気象も相まって、災害も多様化傾向にあり、これらの災害に安全・確実・迅速に対応できる車両を作るため、機装メーカーを始めとする色々な方たちと協議を重ねています。

消防車両は、「流山市の消防車両等更新基準」に基づき、計画的に更新整備を行っています。



救急指導係

日勤救急隊

救急出勤の約6割が集中する日中の時間帯の対応や働き方改革の一環として、令和7年度、日勤救急隊が発足されました。

8時30分から17時15分まで運用しており、5名が配属されています。3名が交代で現場へ出動し、他の2名が救急普及活動や事務処理を行っています。



救急隊の訓練企画

流山市の救急件数が増加傾向の中、日勤救急隊もあらゆる救急現場でスムーズに活動ができるよう、日々訓練を重ねています。

指令係

災害の出動指令に関する こと

ちば北西部消防指令センターにて受報した119番通報は、その通報内容に基づいて、災害の種類や場所を特定し、消防隊や救急隊に出動を要請します。

指令係は、各種災害発生時に無線やドローン等を活用して、情報収集を行い、出動中の活動隊に必要な情報を伝える等、活動隊の支援を行っております。



ちば北西部消防指令センター

流山市を含む千葉北西部地域の 10 市消防本部（局）にて消防指令業務の効率化及び災害対応力の強化を目的として、令和 3 年 2 月より、ちば北西部消防指令センターを共同運用しています。

所在地

千葉県松戸市松戸新田 1 1 4 - 5
松戸市消防局中央消防署 3 階

構成消防本部

流山市消防本部、松戸市消防局、市川市消防局、野田市消防本部、習志野市消防本部、柏市消防局、八千代市消防本部、我孫子市消防本部、鎌ヶ谷市消防本部、浦安市消防本部

配置人員

部制	総人員	日勤者	管制員
3 部制	66 名	6 名	60 名

※流山市からは 5 名を派遣しています。

共同指令センター整備基本計画書に示された北西部共同指令センター整備基本計画は、構成 11 消防本部が同時に運用開始する計画に至らず、平成 25 年度に参加可能な 6 消防本部を第 1 段階整備とし、令和 2 年度に残る 5 市が参加することで整備を進めることとされた。

令和 2 年度の第 2 期整備については、平成 25 年度から 11 消防本部で調査研究を行い、平成 27 年 11 月に「共同指令センター整備基本計画書（北西部ブロック第 2 期整備）」が示され、船橋市消防局を除く構成 10 消防本部で令和 2 年度運用を目指し整備を進めることとなった。





emergency fire aid team

緊急消防援助隊



緊急消防援助隊は、大規模災害時に被災地の消防力では対応できない場合に、全国の消防機関が協力して応援する制度です。阪神・淡路大震災を教訓として、平成7年に創設されました。

緊急消防援助隊は、消火、救助、救急などの活動を行い、人命救助を目的としています。



千葉県第1次派遣隊（消火隊・後方支援隊）
平成23年3月14日から18日



千葉県第2次派遣隊（消火隊・後方支援隊）
平成23年3月17日から21日



千葉県第10次派遣隊（消火隊・後方支援隊）
平成23年4月13日から17日



岩手県陸前高田市内での被害状況



東日本 大震災

東日本大震災は、平成 23 年 3 月 11 日（金）14 時 46 分頃に三陸沖で発生したマグニチュード 9.0 の大地震であり、地震や津波により甚大な被害をもたらしました。（死者 19,759 人、行方不明者 2,553 人）

流山市では震度 5 弱を観測し、総務省消防庁長官の出動指示により、岩手県 陸前高田市へ消火隊及び後方支援隊が合計 4 隊出動し、行方不明者の捜索活動にしました。（派遣人員 16 名）

また、福島県に救急隊及び後方支援隊が合計 8 隊が出動し、救急活動、転院搬送業務に従事しました。（派遣人員 24 名）

東日本大震災では、被災 3 県（岩手・宮城・福島）を除く全国 44 都道府県が派遣されました。（総派遣人員 2 万 8620 人）



新消防本部・中央消防署庁舎建設の記録

■新庁舎建設に至る経緯

旧消防本部・中央消防署の庁舎は、昭和49年5月に建設されて以来、半世紀以上が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいました。

さらに、消防業務の拡大により消防車両の台数が増え、職員数も増加したことで、庁舎内のスペースは手狭となり、日々の業務に支障をきたすようになっていました。

加えて、つくばエクスプレスの開業以降、流山市では急速に人口が増加し、21万人を超える規模となりました。このことに伴い、救急出動件数も年々増加しており、災害も多様化・頻発化する中で、より迅速かつ的確な対応が求められるようになってきました。

こうした背景から、市の中央部に拠点を移し、より機能的で柔軟な対応が可能な新たな庁舎の整備が急務とされ、消防本部・中央消防署の移転・新築が決定されました。

築く！防災の未来！



設計コンセプト

1. 消防力を最大限に発揮できる機能的な庁舎

職員と来庁者の動線を明確に分離し、緊急出動動線を最短にする。

2. 大規模災害時にも機能を維持できる安全な庁舎

耐震重要度係数 1.5 を確保するため免震構造を採用し、災害時にも地域を守る防災拠点としての機能を維持する。

3. 環境にやさしい庁舎

24 時間職員が勤務する消防庁舎の特性を考慮して、省エネルギーに配慮し、ランニングコストの削減を図る。

4. 維持管理がしやすい庁舎

汚れにくい建材、職員が日常のメンテナンスをしやすい内装仕上げなど、維持管理の容易庁舎とする。

大活躍！おおたかくん



名 称

おおたかくん
(あだ名 消したかくん)

名前の由来

職員募集（流山市に生息するオオタカにちなみ命名。あだ名の消したかくんは、消防の消火の意味が込められています。）

おおたかくんのプロフィール

- ・平成 25 年 4 月 1 日（月曜日）生
- ・男の子
- ・子どもが大好き
- ・タカの目を使って市内の危険を発見する
- ・災害現場には内容に応じて早着替えし、電光石火のごとく到着するゾ

主なお仕事

消防主催のイベント等



制服



救助服



救急服



予防活動



消防活動服

5 新消防庁舎 誕生の記録

消防本部・中央消防署新庁舎建設過程

令和 4 年



4 月



8 月



10 月

令和 5 年



9 月



10 月



11 月

令和 6 年



12 月



1 月



2 月



3 月



4 月



5 月



6月



7月



8月



9月



10月



11月



12月



1月



2月

令和 7 年



3月

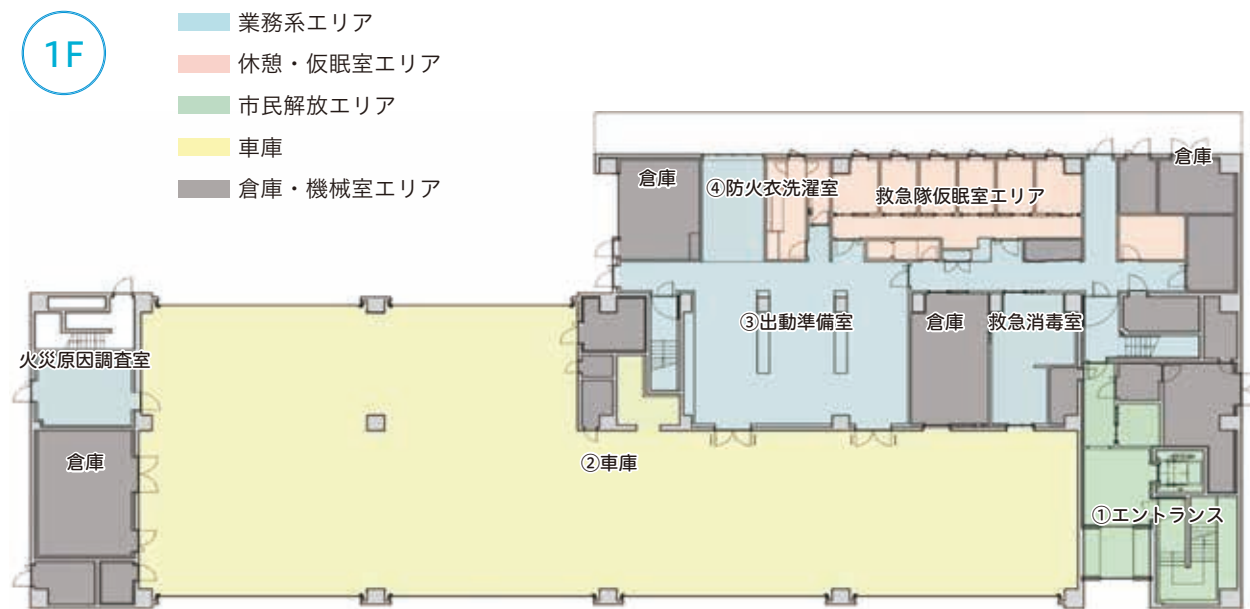


4月



5月

新庁舎の施設・機能



①エントランス



エントランスには、庁舎建設に際しご寄附いただいた方々のお名前を掲示した寄附銘板を設置しました。

②車庫



緊急車両が安全に出動できるよう十分な間口長を確保しました。また、オーバースライドドアは閉鎖時に自然採光を取り入れることと、解放時も天井面の照明器具に制約がないよう、ファイバーグラスを採用しました。

③出動準備室



出動準備室の整備により、装備の着脱や戦術会議がスムーズに行えるようになり、迅速な出動が可能となりました。これにより、現場への到着時間が短縮され、より効果的な火災救急救助活動を実施できるようになりました。

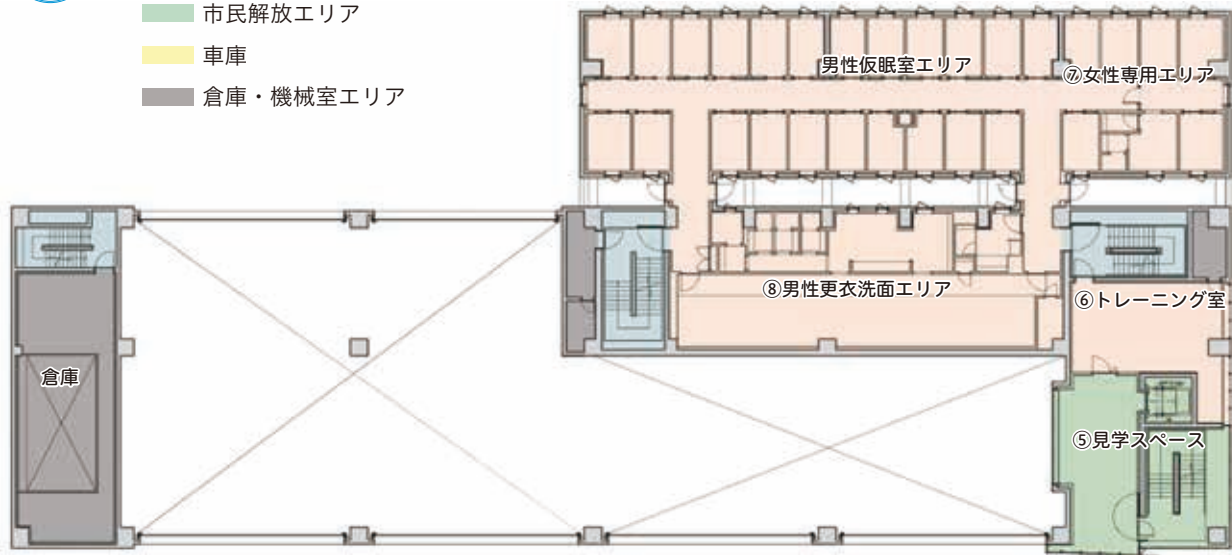
④防火衣洗濯室



防火衣専用の洗濯乾燥室を整備し、火災現場で付着した汚れや有害物質を除去できるようにしたほか、訓練での汚れも洗い流せるように衛生管理を強化しました。

2F

- 業務系エリア
- 休憩・仮眠室エリア
- 市民解放エリア
- 車庫
- 倉庫・機械室エリア



⑤見学スペース



一般の方々が消防活動への理解と関心を深めていただけるよう、消防車両見学スペースを設け、車庫内の消防車両を上から見学できるようにしました。

⑥トレーニング室



過酷な災害現場に対応できるよう、体力強化を目的としたトレーニング室を整備しました。これにより、職員が日々の訓練を通じて体力を向上させ、現場での迅速かつ効果的な対応を支える基盤を築くことができます。

⑦女性専用エリア

女性職員が働きやすい環境づくりのため、仮眠室や洗面室、シャワー室などの女性専用の独立したエリアを設置しました。これにより、女性がより一層活躍しやすい職場環境を整備しました。



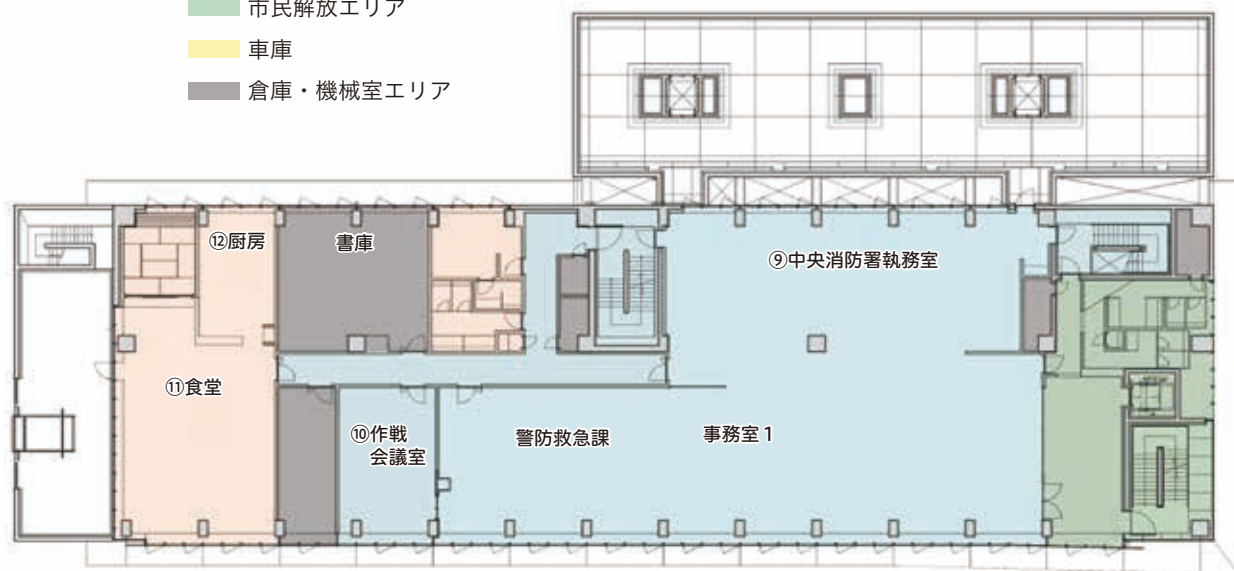
⑧男性更衣洗面エリア



男性更衣洗面エリアは、シャワー、洗濯室、洗面室を更衣室から直接出入りできるよう隣接させることで、本部3課および中央消防署で共用でき、コンパクトにまとめました。

3F

- 業務系エリア
- 休憩・仮眠室エリア
- 市民解放エリア
- 車庫
- 倉庫・機械室エリア



⑨中央消防署執務室



中央消防署の執務室は、南北に開口を設けることで、十分な採光と風通し、換気が確保され、快適で安全な執務空間を実現しました。

⑩作戦会議室



会議室は、大規模災害発生時に災害対策本部として機能するように、統制室から直接出入りできる配置としました。また、壁面には災害情報をまとめて記載できるよう、ホワイトボードを採用しました。

⑪食堂



食堂は、広々とした空間と十分な座席数を確保し、職員がリラックスして食事を楽しめるよう配慮しました。また、隣接する休憩室には畳を採用し、和の雰囲気を取り入れた落ち着いた空間を提供することで、職員のリフレッシュをサポートする環境を整えました。

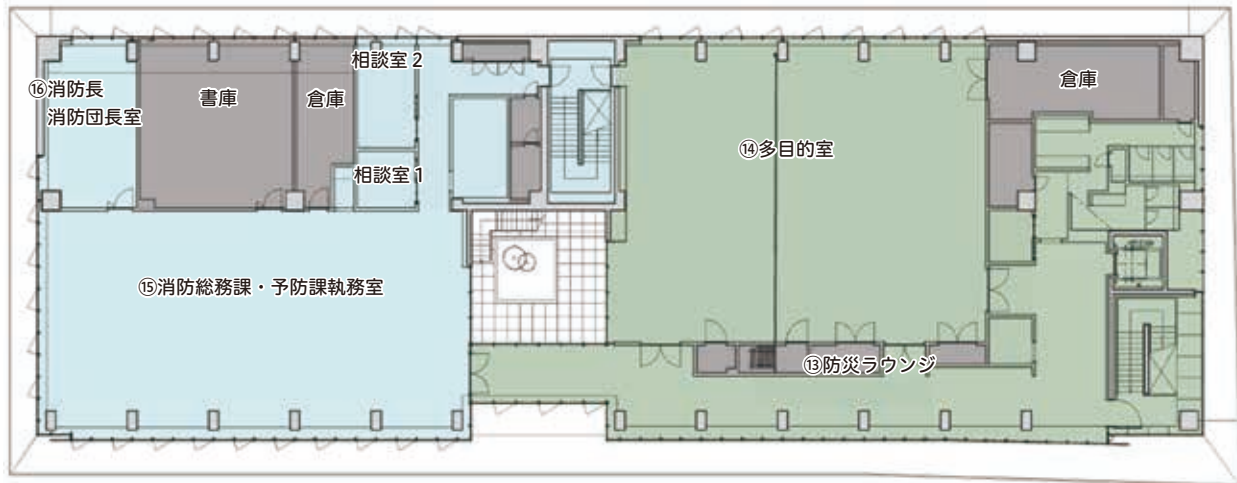
⑫厨房



厨房は、感染症や食中毒のリスクを最小限に抑えるため、個別調理に適した設備を設置し、レイアウトを工夫しました。これにより、安全で衛生的な調理環境を実現しています。

4F

- 業務系エリア
- 休憩・仮眠室エリア
- 市民解放エリア
- 車庫
- 倉庫・機械室エリア



⑬防災ラウンジ



防災ラウンジには、市民の方々の火災予防啓発のため、自動火災報知設備などの設備を体験できる機器を設置し、理解を深めていただけるようにしました。

⑭多目的室



大規模な研修にも対応可能な、定員 200 名を収容できる多目的室を整備しました。この多目的室は、大規模災害が発生した際には、当市の災害対策本部のバックアップ機能を果たすことができます。

⑮消防総務課・予防課執務室



消防総務課・予防課執務室は、南側に開口部を設け、十分な採光と通風を確保した快適な執務空間を実現しました。また、将来の組織改編などにも柔軟に対応できるよう、計画されています。

⑯消防長・消防団長室



消防長・消防団長室は、重要な意思決定や連携が行われる場として、静かで落ち着いた空間としました。

5 新消防庁舎 誕生の記録

新庁舎での業務風景



一日の始まり、一日の終わりをつなぐ交代時の業務引継



出動に備え、日々欠かさぬ車両点検



自家給油設備を活用した効率的な運用



規律と車両点検の姿に宿る消防の基本。大交代点検



見えないところで現場を支える消防総務課の業務



防災ラウンジで行う実践的な消防設備取扱い訓練



活発な議論の場として利用される多目的室



安全・確実・迅速を追求した放水訓練

消防長・消防団長の想い



消防長 須藤 恭成

消防長プロフィール

昭和 59 年 4 月 1 日入庁
消防隊、救助隊を経験後、消防総務課、
予防課にて勤務。
令和 3 年 4 月 1 日より消防長。

本市は直近 10 年間で人口は約 4 万人増加し、消防職員定数も 50 人増員してきました。

今後は、これまで行ってきた災害様態の変化に応じた最新の車両と装備を配備することや、外部での研修機関で近代的な消火戦術や自己防衛術を学ぶこと、増加する救急需要に対応できる救急技術の向上など、市民のために、研究や努力をさらに、積み重ねてまいります。

すべては「未来永劫安心・安全を実感できる街づくり」のために。

取り組むこと

これからの流山市消防本部が

消防団は防災力を維持・向上するために、多岐に渡る活動を担い続ける必要があります。

少子高齢化が進む中で団員不足に対応するように消防団活動を多くの方に知っていただく取り組みを行っていきます。

女性団員の増加、リーダーの養成など、団員すべてのスキルアップと共に、新たな組織体制の構築も重要です。

消防団の役割を再定義し、地域住民と連携しながら、地域社会の安心安全を確保していくことが求められます。

消防団長プロフィール

平成5年7月1日入団
分団長、第一方面隊長、副団長を歴任。
令和5年4月1日より消防団長。

消防団長 梅澤 一雄



若手職員の声

若手職員たちの本音

これからの
流山消防について

座談会

A 消防士 B 消防士 C 消防士 + おおたか君

おおたか君

若手職員が増加する中で
求められることは？

A 消防士 現場活動や事務処理を含めて、一つでも多くの引き出しを増やすことが大切だと思います。

B 消防士 なるほど。自分は、先輩方が今何を求めているのかを感じ取る察知力かなと思います。

C 消防士 いや、僕は逆に、先輩たちは元気を求めているんじゃないかと

思います。

A 消防士 元気？でもそれも間違っていないかもね。仕事ができるのも大事だけど、先輩たちは元気な後輩が好きだよ。

B 消防士 それって結局、コミュニケーション能力のことだね。

C 消防士 元気＝コミュニケーション能力。これが求められていることだ

と思います。

A 消防士 まあ、C 消防士の言うことは合ってるよね。結局、24 時間一緒にいるわけだからコミュニケーションは大事だよ。これは若手職員だけでなく職員全体に求められていることだと思う。ただ、僕たち若手職員の可能性は無限大だから、その可能性が良い方向に向くように、小さなことからコツコツ積み上げていきたい。そうすれば、僕らの世代が管理職になったときに結果としてわかると思うな。

B 消防士 確かにそうだね。僕たちは危険な災害現場に行く仕事でもあるから、災害活動時のコミュニケーションも大事。普段の業務からよく会話することが重要だと思う。

C 消防士 僕は 30 年後も初心を忘れず、元気に仕事を続けたいです。そして、流山市民のために安心・安全なまちづくりに貢献したいです。

おおたか君 なるほど！これからの若手職員には、コミュニケーションを大事にしてほしいと思います！



若手職員の皆も色々と考えてるんだね！20 年後、30 年後、いや、この先ずっと流山市消防本部の未来は明るくなりそうだな！





おおたか君

あなたは流山消防を どうして行きたいですか？

A 消防士 うーん、難しいな。僕は流山消防を魅力ある職場にしたい。この職場で働きたいと思ってもらえる場所にしたいんだ。だから流山市消防本部の採用試験を受けたんだよね。

C 消防士 僕も地元じゃないけど、発展している流山市に魅力を感じてここに入ったんだ。

B 消防士 これから後輩たちも入ってくるから、みんなが「ここで良かった」と思えるように風通しの良い職場にしたいね。

A 消防士 今は若手職員が多いから、良い意味で若手が引っ張っていける職場にしたいな。B 消防

士が言った風通しの良さも、これからの時代にはすごく大事だよな。

B 消防士 僕は消防といえばレスキューや救急のイメージが強いけど、日勤職員の仕事ももっと評価されて人気ある職場にしたい。市民からはあまり見えないけど、先輩たちがこの消防本部の土台を支えてくれていると思うんだ。

C 消防士 確かに日勤の先輩たちは夜遅くまで残業してるイメージあるよね。それってある意味エリートって感じ。

A 消防士 僕たち若手もどんどんチャレンジしていきたい。まずは一歩踏み出すために目標を立て

て、一つひとつの業務をしっかりとこなしていきたいな。

B 消防士 みんなが同じ目標を持って業務に取り組むことで、自然と流山消防は職員が望む組織になっていくと信じてるよ。

C 消防士 A 消防士も B 消防士も良いこと言うね。あまり先のことを考えすぎず、まずは目の前の業務を一つずつしっか

りやることが大事だよな。「やる時はやる」「休む時は休む」リフレッシュも必要だし。僕たちの思いはだいたい同じだね。

おおたか君 素晴らしい討論会だったね。どうしても先のことばかり考えがちだけど、目の前のことをコツコツ積み上げていくのが一番の近道かもしれないね。



流山市消防本部公式 SNS

SNS で
人命救助？

現在、流山市消防本部では、ソーシャル・ネットワーキング・サービス「SNS」を活用して、広く消防の業務を知っていただき、イメージアップに努めています。今までの広報は、文書配布、広報ながれやま、市のホームページなどを活用してきました。

令和5年12月より流山市消防本部公式 SNS を運用開始し、プッシュ型で様々な世代に防火・防災思想の啓発を行うため、また、様々な消防に関する情報発信をしています。熱中症予防や、消火器の取扱い方法を投稿することで、今までよりさらに多くの方々に、有益な情報を伝える可能性が広がると考えています。人命救助の新たなツールとして、当市消防本部は、これからも市民、そして日本や世界に向けて、消防に関する情報を発信してまいります。



市民からの祝福



市民からの
おめでとう！

60th
Anniversary



いつも、応援、ありがとうございます！

この度、流山市消防本部発足 60 周年という節目の年を迎えるにあたり、その歩みを振り返り記念誌を作成しました。また、半世紀余を経て新庁舎の完成という至上の歓びを重ねて迎えることもできました。

さて、本記念誌の編纂にあたってはプロジェクトチームが結束しさらに、関係各位のご支援とご協力を賜り完成しました。

ここに心より感謝を申し上げます。

振り返ればこの 60 年は、諸先輩方の偉大な功績と、容赦なく襲い掛かる各種災害との不断の闘いの歴史でもありました。しかし確かに受け継いだ知識と技術、さらに市民の皆さまに寄り添う誇りが、いつも私たちを支えてきました。

私たちはこれからも多くの市民に愛され、信頼される消防であり続けます。さらにこの新庁舎を「防災拠点の要」とし、流山市のまちに希望を灯し、明るい未来を照らす消防行政として、さらに磨きをかけてまいります。

結びに、本記念誌がこれまでの歴史に敬意と感謝を、そして未来への新たな決意を共有する一冊となることを願います。心を込めて…。

流山市消防本部 60 周年記念誌制作委員会

委員長	須藤 恭成
委員	西澤 靖人
委員	石山 泰司
委員	内藤 哲治
委員	笠原 圭史
委員	佐藤 秀典
委員	馬場 賢
委員	増谷 健太郎

制作担当プロジェクトチーム

制作担当者	藤倉 一臣
制作担当者	佐々木 富香美
制作担当者	中島 大輝
制作担当者	近藤 修次
制作担当者	植田 雅巳
制作担当者	青木 脩雅
制作担当者	登丸 奈美
制作担当者	高川 瑛生
制作担当者	佐藤 良
制作担当者	宮田 裕貴
制作担当者	大森 秀斗
制作担当者	鶴岡 樹
制作担当者	赤間 大志

事務局（消防総務課）

遠藤 勉
安藤 貴司
鎮西 莉工

流山市消防本部 60 周年記念誌

発行日 令和 7 年 12 月 26 日
発行者 流山市消防本部
〒 270-0122 千葉県流山市大畔 410
TEL 04-7158-0119

印刷 (有) 明峰印刷
〒 278-0022 千葉県野田市山崎 807-1

FIRE DEPARTMENT
CITY OF
NAGAREYAMA

